2019.5

Study in Europe

欧州留学ガイド

Delegation of the European Union
駐日欧州連合代表部

註：本冊子は欧州への留学に関心のある方に基本的な留学情報を日本語で提供することを目的としています。ただし、掲載内容は2019年1月時点のものに基づいておりますので、最新かつ確実な情報については当該機関に直接確認を取られるようお願いいたします。

駐日欧州連合代表部

欧州へのご招待

欧州連合（EU）は、学生と研究者の方々の留学先・在外研究地として、世界屈指の魅力的な場所です。学術的に高い水準を誇る EU は、多種多様な学位取得プログラム、最先端のテクノロジーや先進的な研究施設の数々、そして文化・言語・社会の豊かな多様性を特徴としています。

EU にぜひお越しいただき、大学レベルの学習・研究分野において EU が提供する、比類ない可能性の数々を確かめていただきたいと思います。やりがいがあり、かつ親しみやすい雰囲気の中でそれを実感していただけることでしょう。欧州で培った経験は、欧州、日本、その他いずれの国であろうとも、将来のキャリアアップにつながるはずです。

しかし EU で学ぶことは、単に学位の取得だけを意味するわけではありません。さまざまな国や民族、言語、文化が多様性を保ちながら結束している、彩り豊かな EU の姿を発見することができるでしょう。EU で学ぶことで視野が広がり、柔軟な考え方が育まれ、ますます相互依存を強める世界において困難に立ち向かっていく力が身に付くはずです。

このガイドでは、主に修士課程修了までの、EU 加盟国それぞれの留学情報および日本の学生の方々にも開かれている EU のさまざまなプログラムをご紹介しています。また、欧州留学を実現するのに役立つ各種奨学金制度についても、多数の情報を掲載しています。

このガイドを手掛かりに、刺激的で実り多い欧州留学に向けて、最初の一歩を踏み出していただきたいと思います。詳しい情報は、駐日欧州連合代表部か在日 EU 加盟国大使館、もしくは EU 加盟国の在日学術国際交流機関へお問い合わせください。

将来の欧州留学であらゆる成果を挙げられますよう、お祈りしております。

駐日欧州連合代表部

目次

欧州へのご招待		01
欧州留学の魅力		03
欧州連合（EU）について		04
EU プログラムのご紹介		05
Austria	オーストリア	08
Belgium	ベルギー	10
Bulgaria	ブルガリア	12
Croatia	クロアチア	14
Cyprus	キプロス	16
Czech Republic	チェコ	18
Denmark	デンマーク	20
Estonia	エストニア	22
Finland	フィンランド	24
France	フランス	26
Germany	ドイツ	28
Greece	ギリシャ	30
Hungary	ハンガリー	32
Ireland	アイルランド	34
Italy	イタリア	36
Latvia	ラトビア	38
Lithuania	リトアニア	40
Luxembourg	ルクセンブルク	42
Malta	マルタ	44
Netherlands	オランダ	46
Poland	ポーランド	48
Portugal	ポルトガル	50
Romania	ルーマニア	52
Slovakia	スロヴァキア	54
Slovenia	スロヴェニア	56
Spain	スペイン	58
Sweden	スウェーデン	60
United Kingdom	英国	62

欧州留学の魅力

質の高い教育

科学、技術、ビジネス・経済、芸術等々、学生の選択する学問領域が何であろうとも、欧州連合（EU）で学ぶことができます。ノーベル賞受賞者が400人を超え、世界の特許出願件数の約45%を占めている欧州は、卓越した学術・研究の先進地です。

トップレベルの大学ではあらゆる分野のコースが幅広く提供され、ビジネスや産業、実地研修と直接結びついた高度な教育やトレーニングが実施されています。また欧州の大学は国際化を積極的に進めており、現在多くの大学が極めて多くの外国人学生を受け入れています。

欧州留学の費用はそれほど高額ではない上、将来への価値ある投資になる

欧州では教育は最も重要なもの、そしてまた基本的権利と考えられています。欧州の6,000を超える高等教育機関の大半が適切な資格を持つ全ての者に門戸を開くよう、多大な努力が払われているのもそのためです。

欧州の高等教育機関が学生をサポート

欧州の高等教育機関は、留学期間全体を通じて学生をサポートします。サポートの例としては、学生一人ひとり個別の迎え入れ、空港への送迎、オリエンテーション、宿泊施設、面談指導、余暇活動プログラム、その他、新しい環境になじむのに必要なこと全てが含まれます。

EU では多数の言語が使われていますが、英語で受講できるコースもほとんどの国で多数提供されています。また語学の授業もあり、集中的な専門コース、学期前の準備プログラム、日常会話の基本をマスターする短期コースなどさまざまです。

EU 加盟国は学生ビザ（査証）の発行手続きを簡略化するため、あらゆる努力を傾けています。オンラインでの申請手続きがますます一般化しており、学生は在住国の大使館で情報を得ることができます。

さらに詳しい総合情報は以下をご覧ください

Study in Europe：http://ec.europa.eu/education/study-in-europe/

欧州連合（EU）について

欧州連合（EU）は1957年に6カ国で創設されました。以来、発展を続け、現在の加盟国は、欧州および世界の平和と繁栄のために一致団結して取り組んでいます。EU は欧州の安定、民主主義、発展を支えつつ、同時にまた、文化的な多様性、寛容、個人の自由を擁護しています。

世界各地にある EU 代表部は、EU 外務・安全保障政策上級代表の権限の下、第三国において EU の利益を代表する機関です。

日本では、東京の駐日 EU 代表部が EU を代表しています。本代表部は EU の利益全般のために尽くしています。EU 加盟国の在日大使館とは、緊密に協力しながら各種の活動を共同で行い、EU の知名度や認知度の向上を図っています。

欧州の高等教育

EU 域内では、教育は各加盟国が責任を担っています。しかし EU も、各国の教育に欧州的側面を加え、質の高い教育の拡充を支援し、生涯学習を奨励するなど、補完的な役割を果たしています。

現在、欧州全域で、国と大学がボローニャ・プロセスと呼ばれる一連の改革に取り組んでいます。ボローニャ・プロセスは、共通の原則が適用される欧州高等教育圏を形成し、域外のパートナーが欧州の大学と協力することを容易にし、透明性も高めることを目的としています。各国の制度と大学の多様性を維持しつつも、各国の高等教育制度の間の透明性を改善し、さらには、さまざまな機関の間での学位・学歴の承認、留学、交流を促進することが狙いです。

欧州諸国は現在、次のような、比較可能な3段階の学位付与制度の採用を進めています。

- **学士課程（180 ～ 240 ECTS）**：3 ～ 4年間
- **修士課程（90 ～ 120 ECTS）**：1 ～ 2年間
- **博士課程**：3年以上

欧州単位互換制度（ECTS）

60 ECTS 単位は正規の学生の1学年分の学習量に相当します。正規の学生の学習量は年1,200 ～ 1,800時間とさまざまです。単位を取得するには、必要な学習を全て修了し、学習成果について適切な評価を得なければなりません。

欧州連合（EU）のプログラムのご紹介

日本の学生にも開かれている EU の高等教育プログラム

エラスムス・プラス

エラスムス・プラス（Erasmus+）は、EU の中心的な教育助成プログラムです。このプログラムには、日本の学生、大学、学者が参加できる修士課程のジョイントディグリー、短期留学、ジャン・モネ・プログラムといった3つの主要プロジェクトがあり、日欧の大学間協力を促進します。

- **修士課程のジョイントディグリー**

日本の学生はエラスムス・プラスを通じて修士課程のジョイントディグリー（Joint Master Degree）取得コースに応募し、欧州2カ国以上で学びつつ、1年間で最高2万5,000ユーロの奨学金を受けることができます。コースの大半は英語で行われます。

応募に関して

志望者は、コースを提供するコンソーシアムに直接応募し、コンソーシアムが選考の上、奨学金対象者を決定します。以下のウェブサイトでは、現在奨学金を提供しているコースを全てご覧いただけます。
https://eacea.ec.europa.eu/erasmus-plus/library/scholarships-catalogue_en

関心のあるコースのウェブサイトアドレスをクリックすれば、具体的な詳細（プログラムの概要、出願手続き、各種用紙、期限）がご覧いただけます。

出願資格と出願時期

出身国を問わず、入学に必要な学業を修了した学生であれば、エラスムス・プラスのコースと奨学金に出願することができます。

出願時期は、各コースを担当するコンソーシアムが設定します。一般的には12月半ばから1月後半にかけてであり、コースのほとんどは次の秋に開始します。

日本の EU ジョイントディグリー卒業生による体験談：

鈴木暢大さん――ハンガリー、ギリシャとスウェーデンに留学

「18カ国32人の仲間と共に、持続可能な社会構築に向けて、最先端で体系的かつ実践的な知識と経験を得ることができました。欧州3カ国で過ごした日々とその想い出は、私にとって、今後も信念を強く持ち、成し遂げたい夢に向かって歩むための原動力であり続けると思います」

高橋大祐さん――イタリア、ドイツとフランスに留学

「ドイツ、イタリア、フランスの大学院で1学期ずつ学んで3つの学位が得られる寛大なプログラムでした。20人の同級生が15カ国の出身者で構成される国際的な環境で、本物のコミュニケーションスキルが磨かれました。欧州での経験・ネットワークが、キャリアの専門性を高めることも役立っています。また、欧州の文化や歴史を間近に感じ人間の幸福について真剣に考えるようになったことが、その後の人生にも大きな収穫となっています」

• 短期留学

日本の大学で学士・修士・博士課程に在籍している日本人学生は、欧州にあるパートナー校で3カ月から12カ月間学ぶ短期留学プログラムに参加することができます。学生は、留学先の大学（ホスト校）で単位を取得し、追加費用を支払うことなく、母校でその単位を認定してもらうことができます。 また、交通費や生活費をカバーする奨学金も EU から支給されます。

応募に関して

エラスムス・プラスの既存のパートナー校については、自身の母校の国際交流室にお問い合わせ下さい。

• ジャン・モネ EU 研究コースおよびセンター

EU は、ジャン・モネ・プログラムを通じて、世界中で EU に関する卓越した教育と研究を推進しています。日本の大学は、個別の EU 研究コース（ジャン・モネ・モジュール、Jean Monnet Modules）もしくは EU 研究に特化した教育・研究センター（ジャン・モネ・センター・オブ・エクセレンス、Jean Monnet Centres of Excellence）を設立するための助成金を申請することができます。また、EU 研究および EU についての教育を行う大学教員が直接助成金を申請することもできます（ジャン・モネ・チェアー、Jean Monnet Chair)。

エラスムス・プラスに関する詳しい情報

欧州委員会教育・文化総局
http://ec.europa.eu/programmes/erasmus-plus/

研究者を対象としたプログラム（修士課程を含む）

欧州で研究を行いたい方には、修士レベル以上を対象としたプログラムが各国で多数用意されています。

詳細は EURAXESS Japan のウェブサイトをご覧下さい。
https://euraxess.ec.europa.eu/worldwide/japan

EU の全プログラムについての詳細

駐日欧州連合代表部
〒106-0047　東京都港区南麻布4-6-28　ヨーロッパハウス
電話：(03) 5422-6001　ファクス：(03) 5420-5544
E メール：delegation-japan@eeas.europa.eu
ウェブサイト：https://eeas.europa.eu/delegations/japan_ja

オーストリアの基本情報

中欧に位置するオーストリアは自然の美しい国です。牧歌的な風景や目を見張る眺望の山々、そして歴史と文化に満ちた不朽の都市が特徴です。

オーストリアの人口は800万を超えます。北はドイツ、チェコと国境を接し、東はスロヴァキアとハンガリー、南はスロヴェニアとイタリア、そして西はスイスとリヒテンシュタインにそれぞれ接しています。オーストリアの公用語はドイツ語です。

オーストリアはかつて欧州の大国であり、その豊かな文化的環境の中から、音楽をはじめとするさまざまな芸術分野の世界的大家が生まれました。オーストリアは多数の高名な科学者、ノーベル賞受賞者、そしてモーツァルトやシュトラウス等の作曲家の生誕の地であり、彼らの業績や作品は今もなお人々に感銘を与え続けています。首都ウィーンは、欧州の文化的首都とも称されます。世界屈指の魅力的な都市に数えられており、マーサー社の「クオリティ・オブ・リビング」調査で、2011年と2012年に一位にランクされました。この大都市には他にはない独特の魅力と活気、そして優雅な雰囲気があります。

高等教育制度

オーストリアには多種多様な高等教育機関があります。22校ある大学では、幅広い科目の中から選択して学ぶことができます。音楽、演劇、映画、美術、応用美術を学びたい方には、オーストリアの6つの芸術大学が提供する創造性に富んだ教育プログラムが用意されています。オーストリアはまた、上記大学に加え、20の応用科学大学があり、246の学位取得プログラムを提供しています（www.fachhochschulen.at）。

さらに、12の私立大学でもトップクラスの教育が受けられます。中等教育修了後の機関としては、教師養成専門学校・機関もあります。オーストリアでは、およそ500のオプションから選択し学習することができます（www.studienwahl.at）。オーストリアの大学生の約5分の1は外国人学生です。取得できる学位は次のとおりです。

- 大学レベル・第1ステージ（学士号）：Bakkalaureus, Bakkalaureus (FH)
- 大学レベル・第2ステージ（修士号）：Magister, Magister (FH), Diplom-Ingenieur, Diplom-Ingenieur (FH)
- 大学レベル・第3ステージ（博士号）：Doktoratstudien

オーストリアの教育システムと、オーストリアが参加する国際交流プログラムについての詳細は次のウェブサイトをご覧ください。

- www.bmwf.gv.at.
- www.oead.at

奨学金

オーストリア政府と多数の民間機関、およびいくつかの大学が学生に奨学金を給付しています。奨学金を運営するのは、オーストリア学術交流会（OeAD -Österreichischer Austauschdienst）と呼ばれる特別機関です。オーストリア留学と、そのための資金援助に関心のある方は、次のウェブサイトをご覧ください。
www.grants.at

オーストリアは長年にわたり、日本の学生に人気のある留学先です。さまざまな協力・交換留学プログラムにより、オーストリアの大学院での研究や博士号取得のための研究が可能となっています。また日本の多数の大学が、パートナーの大学と協力関係を結んでいます。こうしたプログラムは多くの場合、短期の夏期コースや文化交流プログラム、語学プログラムによって補完されます。

二国間で双務的に実施されている文部科学省の奨学金制度の枠組みの下で、日本の大学生・大学院生は最長9カ月間、オーストリアに留まることができます。候補者の選考は、日本にあるオーストリア・日本委員会が行います。 詳しくは次のウェブサイトをご覧ください。
https://oead.at/en/the-oead/our-programmes-from-a-to-z/#c24677

オーストリアの高等教育と学習、および奨学金制度についての詳しい情報は以下で入手できます。

- **オーストリア学術交流会（OeAD - Österreichischer Austauschdienst）**
  www.oead.at および www.grants.at
- **オーストリア大使館**
  〒106-0046　東京都港区元麻布1-1-20
  電話：03-3451-8281　ファクス：03-3451-8283
  http://www.bmeia.gv.at/botschaft/tokio.html

ベルギーの基本情報

西欧に位置するベルギー王国は欧州連合（EU）の中心にあります。国境はフランス、ドイツ、ルクセンブルク、オランダと接し、北海にも面しています。首都はブリュッセルで、人口は1,100万です。連邦国家ベルギーは3つの言語圏から構成されています。すなわち、オランダ語圏、フランス語圏、そして少数のドイツ語圏です。ブリュッセルは公式には2言語圏ですが、実際は英語が広く使われている多言語地域です。ベルギーは、アントワープやブルージュ、ゲント、リエージュ、モンス、トゥルネーといった中世からの芸術的都市を誇っています。地理的に中心に位置し、交通システムも発達しているため、ロンドンやパリ、アムステルダムといった西欧の他の大都市へ列車で1～2時間で行くことができます。首都のブリュッセルは世界有数の多文化都市であり、EU の主要機関の所在地でもあります。また多くの大使館や国際機関、多国籍企業があり、さまざまな国籍の駐在員が大勢住んでいます。

高等教育制度

ベルギーの教育機関は、世界最古の一つに数えられる中世起源のものもあり、世界的に高い学術的評価を得ています。学科の種類は生物工学から美術、航空学、核医学と、極めて多岐にわたっています。ベルギーの高等教育制度は、いわゆる欧州高等教育圏の一部として、3つのサイクルから構成されています。すなわち、第1の学士課程、第2の修士課程、第3の博士課程です。

ベルギーの高等教育機関は、大学、大学カレッジ、卒後教育訓練機関の3種類があります。現在、ますます多くの高等教育機関が英語によるプログラムを提供しています。

大学の学位のしくみ

- **学士号：**学生は学士課程の期間中、選択した科目のプログラムと並んで一般的トレーニングを受けます。第1サイクルには最低3年間の学習が含まれ（180 ECTS 単位に相当）、学士号の取得を目指します。
- **修士号：**学士号を取得した学生は、直ちに学習の第2サイクルである修士課程に進むことが可能です。同課程は最低60、多くの場合120の ECTS 単位からなります。修士課程のプログラムでは授業と研究が相互的に行われ、学生は専攻分野の高度な知識とスキルの習得を目指します。修士課程の終わりには修士論文を執筆します。
- **上級修士号：**上級修士課程では特殊分野の専門的資格を取得します。上級修士課程のプログラムは最低60 ECTS で構成されます。プログラムを締めくくる修士論文は、評価全体の重要な部分を占めます。
- **卒後（ポストグラデュエイト）プログラム：**卒後プログラムでは、追加的な職業研修の枠組みの下、学士・修士のプログラムで習得したスキルの拡大・強化を目指します。最低20 ECTS 単位からなるプログラムを修了すると証明書が授与されます。
- **博士号：**博士号はベルギーの大学が授与する最高位の資格です。博士課程の学生は博士論文の準備を行いながら、博士課程研修プログラムを履修して、学界その他の分野における将来のキャリアに役立つ追加的スキルを習得します。

授業料と生活費

授業料はプログラムにより、また教育内容・機関の種類により異なります。2012～2013学年次の大学の授業料は、EU の学生の場合、610～835ユーロです。EU 域外の学生の場合、追加の授業料が必要ですが、金額はプログラムと機関により異なります。月々の生活費（居住費、食費、交通費、光熱費）はおよそ最低850ユーロです。

詳しい情報

- **ベルギーで学ぶ**
  www.belgium.be/en/education/
  www.topstudybelgium.be
- **フランデレン地域およびブリュッセルで学ぶ（オランダ語および英語圏）**
  www.studyinflanders.be
  www.ond.vlaanderen.be/english
- **ワロン地域およびブリュッセルで学ぶ（フランス語および英語圏）**
  www.studyinBelgium.be/en (in English)
  www.enseignement.be (in French)
  http://www.studyinbelgium.be/en/content/scholarship-opportunities-japanese-students
  (in English and 日本語)
- **ドイツ語圏で学ぶ**
  www.dglive.be/en
- **ベルギー大使館**
  〒102-0084　東京都千代田区二番町5-4
  電話：(+81)-3-3262-0191　ファクス：(+81)-3-3262-0651
  http://countries.diplomatie.belgium.be/en/japan/

ブルガリアの基本情報

ブルガリア共和国は、南東欧にあるバルカン半島の北東部に位置しています。北はルーマニア、南はトルコとギリシャ、西はセルビアと北マケドニアと接しており、東は黒海に面しています。首都はソフィアです。人口は約700万人で、公用語はブルガリア語です。

高等教育制度

ブルガリアの高等教育システムは1995年末に大きく改編されました。議会で新高等教育法が成立し、学士号・修士号・博士号（PhD）という多層な学位制度が発足しました。

この高等教育法の下、高等教育機関には大学、専門高等学校、独立型カレッジがあります。大学は人文科学、自然科学、社会科学、技術科学の4つの主要科学分野のうち、3つ以上の分野において、幅広い専門科目の教育を施す機関です。主だった学術分野のそれぞれにおいて、学士・修士・博士の学位を授与しています。また、科学・芸術面で豊かな潜在的能力を有し、その活動を通じて科学と文化の主要領域の発展に貢献しています。博士課程のプログラムは、ブルガリア科学アカデミーや農業アカデミー等の研究機関でも実施されます。

ブルガリアの高等教育システムは、中等教育修了証明書を有する全ての候補者に開かれています。

高等教育機関の学生は、フルタイム、パートタイム、遠隔コースのいずれかを選択することができます。ブルガリアでは専門学士・学士課程は3～4年間、修士課程は1～2年間、博士課程は3年間です。修士課程の入学希望者は学士号を有することが条件です。博士課程の入学希望者は修士号を有することが条件です。博士プログラムは4年間です。博士課程はさまざまな専攻分野で組まれます。

奨学金

ブルガリア教育科学省と日本学術振興会（JSPS）の間で結んでいる二国間協定の下、大学院コースを受講する日本の学生は、さまざまな分野で授業料の免除を受けることができます。
http://www.jsps.go.jp/english/

また、日本の多くの大学の学生が利用できる短期交換留学プログラムもあります。

詳しい情報

- **教育科学省：**http://mon.bg/
- **ブルガリア大学ランキング制度：**http://rsvu.mon.bg/
- **ブルガリア大使館**
  〒151-0053　東京都渋谷区代々木5-36-3
  電話：(03) 3465-1021　ファクス：(03)-3465-1031
  http://www.mfa.bg/embassies/japan

クロアチア共和国の基本情報

クロアチアは正式名称をクロアチア共和国といい、南東欧のアドリア海とパンノニア平原が出会う場所に位置しています。

クロアチアの北部はハンガリーと国境を接し、北西部はスロヴェニア、また北東部はセルビアと接しています。クロアチアの三日月型の国土の南の国境線は、大半がボスニア・ヘルツェゴビナと接していますが、南端部はモンテネグロと接しています。さらに、アドリア海をはさんだ隣国としてイタリア、スロヴェニアがあります。

クロアチアは国際通貨基金（IMF）によれば新興開発途上国、世界銀行によれば高所得国に分類されています。伝統的にクロアチアは観光立国です。歴史的遺産と美しい自然、快適な気候を基礎とし、質の高い宿泊施設と優れた食文化、そしてアクティビティやエンターテイメントが豊富に揃ったクロアチアは、今日のツーリストにとって魅力あふれる国です。

クロアチアの最も重要な観光資源はアドリア海です。透明で美しい海と長く伸びる入り組んだ海岸線（全長約1,800km で比較的手つかずのまま残されており、沿岸の1,244の島々も50島を除いてほとんどが無人島）、そして温暖な気候は、観光立国クロアチアの中心的な強みとして知られ、活かされています。

大陸部のクロアチアにも、多数の観光名所があります。豊かな歴史と印象的な建物が特徴の町々、古城、国立公園、河川、スキーリゾート、ワイン醸造用ブドウ園、健康効果の高い温泉などがあります。国内最大の都市である首都ザグレブは、北西部のサヴァ川河畔にあり、人口は100万人弱です。ザグレブはクロアチアの政治、経済、文化、学術の中心地です。

高等教育制度

クロアチアの高等教育制度には長年にわたる教育の伝統があり、それは主に国内の公立大学を通じて守られてきました。それらの大学とは（アルファベット順に）、オシエクの J.J. シュトロスマイエル大学、プーラのユライ・ドブリラ大学、ドゥブロヴニク大学、リエカ大学、スプリト大学、ザダル大学、ザグレブ大学を指しています。

クロアチアの高等教育制度は二元的な構造を持ち、学生は次のような2種類の高等教育コースのいずれかを選択できます。

- 学術的プログラムからなり、大学のみで実施されている大学学習コース
- 職業専門プログラムからなり、技術専門学校または応用科学カレッジで実施されている職業専門学習コース（ただし例外的に、職業専門プログラムが大学で実施されることもあります）

クロアチアの高等教育制度は EU のボローニャ・プロセスの枠組みの下で包括的に改正されました。クロアチアの高等教育制度は現在、3サイクル（学部課程、修士課程、博士課程）に基づいて構成されています。また学習コースは EU 単位互換制度（ECTS）に従って編成されているため、（欧州とその他の国出身の）外国人学生がクロアチアで学習し、帰国後にその学習について認定を得るのを容易にしています。

クロアチアには、公立および私立の高等教育機関があります。

クロアチアの大学のほとんどは公立の機関です。しかし近年、3つの私立大学と多数の応用科学カレッジが設立され、私立の大学教育も進化を遂げつつあります。

職業専門教育を実施する高等教育機関については、状況はより多様です。技術専門学校のほぼ全ては公立の機関ですが、応用科学カレッジはほとんどが私立の機関です。技術専門学校と応用科学カレッジはどちらも、第1・第2サイクルの職業専門学習プログラムを提供しています。なお、これらの教育機関は、提供する学習プログラムの数では違いがありますが、プログラムの種類は同じです。

奨学金

外国人学生がクロアチアの高等教育機関で学ぶには、クロアチアでの滞在期間をカバーするのに十分な、個人的資力または自国の奨学金や国際的奨学金に基づく資力を有している必要があります。

現在、クロアチアの大半の高等教育機関は、外国人学生対象の奨学金や財政支援を一切提供していません。しかし、クロアチア科学教育スポーツ省が管轄する二国間協定プログラムや、大学間の双務協定、CEEPUS やエラスムス・ムンドゥス等のプログラム、そして、クロアチアの「交流・EU プログラム」機関が運営するエラスムス・プログラムを通じたものなど、外国人学生が利用できる奨学金制度は、多数あります。

詳しい情報

- **クロアチアの高等教育制度および主要大学についての詳細は、科学教育スポーツ省のウェブサイトをご覧ください。**http://public.mzos.hr/Default.aspx
- **奨学金について詳しくは次をご覧ください。**www.mobilnost.hr または www.studyincroatia.hr
- **クロアチア大使館**
  〒150-0012　東京都渋谷区広尾3-3-10
  電話：03-5469-3014　ファクス：03-5469-3015
  http://jp.mfa.hr/jp

キプロスの基本情報

キプロスは、地中海の中で、シチリアとサルジニアに次いで3番目に大きな島です。欧州、アジア、アフリカの交差路にあたり、キプロスはこれら三大陸の橋渡しをする役割を果たしています。キプロスの主な産業は銀行、観光、工芸品輸出、海運およびその他サービス業です。キプロスは自由で開放的な市場経済を有しています。ここ何年間で経済が徐々に近代的発展を遂げ、ダイナミックなサービス業・工業・農業が生まれるとともに先進的な物理的・社会的インフラが整いました。キプロスの首都はニコシア（レフコシア）です。キプロスは快適な地中海性気候に恵まれています。乾燥した夏が5月中旬から10月中旬まで長く続き、年間を通して陽光が降り注ぎます。

キプロスは1960年に独立を果たしましたが、1974年7月にトルコが北キプロスに侵攻し、以来、国土の37%が占領されています。2004年5月にキプロスは欧州連合（EU）に加盟し、EUの最東端かつ最南端の国となりました。また2008年1月にユーロを導入しました。キプロスの公用語はギリシャ語とトルコ語です。しかし英語も広く使われています。

高等教育制度

政府の高等教育政策は、高等教育に対する国民のニーズに応えることと併せ、キプロスを地域の教育・研究センターとして国際的研究者・学生にとってのハブとすることを目的としています。キプロスの高等教育制度は、ボローニャ・プロセスが定める欧州高等教育圏に沿って形成されています。高等教育は、国公立・私立の高等教育機関により、大学および大学以外のレベルにおいて提供されています。なお「キプロスの高等教育（Higher Education in Cyprus）」と題する英語版の電子情報冊子が以下のウェブサイトでご利用いただけます。www.highereducation.ac.cy/information_booklet/files/highereducation-vivliaraki.pdf

キプロスで法の下で運営されている高等教育機関は次のとおりです。

国公立大学：

- The University of Cyprus: www.ucy.ac.cy
- Open University of Cyprus: www.ouc.ac.cy
- Cyprus University of Technology: www.cut.ac.cy

私立大学：

- Frederick University - Cyprus: www.frederick.ac.cy
- European University - Cyprus: www.euc.ac.cy
- University of Nicosia: www.unic.ac.cy
- Neapolis University - Cyprus: www.nup.ac.cy
- UCLan - Cyprus: www.uclancyprus.ac.cy

公的高等教育機関：

- The Higher Hotel Institute of Cyprus: www.mlsi.gov.cy/mlsi/hhic/hhic.nsf/index_en/index_en?opendocument
- The Cyprus Forestry College: www.moa.gov.cy/fc
- The Mediterranean Institute of Management: www.mlsi.gov.cy/kepa
- The Police Academy: www.police.gov.cy

民間高等教育機関：

1. A.C. American College: www.ac.ac.cy
2. Aigaia School of Art and Design: www.aigaia.com.cy
3. Alexander College: www.alexander.org
4. Arte Music Academy: www.artemusic.org
5. Atlantis College: www.atlantiscollege.com
6. C.D.A. College (Nicosia): www.cdacollege.ac.cy
7. C.D.A. College (Larnaka): www.cdacollege.ac.cy
8. C.D.A. College (Limassol): www.cdacollege.ac.cy
9. Casa College: www.casacollege.ac.cy
10. College of Tourism and Hotel Management: www.cothm.ac.cy
11. Cyprus College (Nicosia): www.cycollege.ac.cy
12. Cyprus College Limassol: www.cycollege.ac.cy
13. Cyprus Academy of Art: www.artcyprus.org
14. Cyprus International Institute of Management: www.ciim.ac.cy
15. Cyprus School of Molecular Medicine: www.cing.ac.cy
16. Frederick Institute of Technology (Nicosia): www.fit.ac.cy
17. Frederick Institute of Technology (Limassol): www.fit.ac.cy
18. Global College: www.globalcollege.com.cy
19. Institute of Professional Studies (IPS), UCLan Cyprus: www.uclancyprusips.ac.cy
20. Intercollege (Nicosia): www.intercollege.ac.cy
21. Intercollege (Larnaka): www.intercollege.ac.cy
22. Intercollege (Limassol): www.lim.intercollege.ac.cy
23. Internapa College: www.internapa.ac.cy
24. Kes College: www.kes.ac.cy
25. Larnaca College: www.larnacacollege.com
26. Ledra College: www.ledra.ac.cy
27. M.K.C. City College Larnaca: www.citycollege.ac.cy
28. P.A. College: www.pacollege.ac.cy
29. Susini College (Limassol): www.susini.ac.cy
30. Susini College (Nicosia): www.susini.ac.cy
31. The C.T.L. Eurocollege: www.ctleuro.ac.cy
32. The Cyprus Institute: www.cyi.ac.cy
33. The Cyprus Institute of Marketing (Nicosia): cima.ac.cy
34. The Cyprus Institute of Marketing (Limassol): cima.ac.cy
35. The Limassol College-T.L.C: www.tlc.ac.cy
36. The Philips College: www.philips.ac.cy
37. Vladimiros Kafkarides School of Drama: www.satiriko.com

奨学金

キプロス政府の奨学金は、www.cyprusaid.gov.cy でご覧になれます。また、キプロスの公的・民間高等教育機関も随時奨学金を給付しています。募集はそれぞれのウェブサイトで行っています。

詳しくは次のウェブサイトをご覧ください。

- **教育・文化省高等教育局：**www.highereducation.ac.cy/en
- **教育・文化省：**www.moec.gov.cy

チェコの基本情報

チェコは欧州の中心に位置する内陸国で、他に類のない豊かな自然と文化を誇っています。国の総面積は7万8,866km^2、人口は約1,060万です。チェコはドイツ、ポーランド、オーストリア、スロヴァキアと国境を接しており、首都はプラハです。議会制民主主義の国であり、2004年に欧州連合（EU）加盟国となりました。

高等教育制度

チェコの高等教育は、その質の高さによって、世界的な評価を受けています。この質の高さは、国による規制と質保証制度により維持されています。このように教育に重点が置かれるのは、チェコ国民の生活において教育が常に重要な役割を果たしてきたからです。中欧最古の大学は、1348年にプラハで（当時のチェコ国王カレル4世 により）設立されました。近代史において、教育訓練や研究は、チェコの新しい発展のために極めて重要なものでした。欧州の小国チェコは、科学とイノベーションにおける国際的協力こそが、グローバル化した世界で長期的成功を収めるための前提条件となることをよく理解しています。

さまざまな文化の交差路に立つチェコで学ぶことで、学生は視野が広がり、多様な背景を持つ人々と協力する能力を身につけることができます。またこのために、欧州レベル・世界レベルの最新の教育環境へさらに適応していくための中心的存在にもなりえます。チェコの生活水準は比較的高く、一方で生活費はそれほど高くありません。

チェコの高等教育制度は現在、多くの学科で学士、修士、博士（Ph.D.）のプログラムおよび学位なしのコースで学ぶことができる25の公立大学と、学士プログラムと学位なしのコースを提供する1つの公的高等教育機関で構成されています。

これらの公的な高等教育機関のほかに、チェコには2つの州立大学と40を超える私立高等教育機関があります。

さらにチェコの大学と高等教育機関では、多くの知識と技能の分野をカバーする高水準のプログラムおよび教育訓練コースを幅広く提供しています。チェコの高等教育機関での勉学についての一般的な情報は、教育・青少年・スポーツ省のウェブサイト http://sdv.msmt.cz/eu-and-international-affairs/study-at-institutions-of-higher-education-1 でご覧いただけます。

授業料

準拠法となる高等教育法（Higher Education Act No. 111/1998, Coll.、最新改正法）の採択に従い、チェコの公的高等教育機関は、入学許可の条件、授業関連費用の判断および学習プログラムの作成に関して完全な独立性を確保しています。

入学志願者は、入学のための諸条件や学習オプションに関しては個々の高等教育機関にお問い合わせください。志願者のための総合的な情報はほとんどの場合、各機関のウェブサイトで見ることができます。

奨学金

毎年、チェコの教育・青少年・スポーツ省は、チェコの大学で学ぶ外国人学生を支援することを目的に奨学金を給付しています。これは、外国開発協力の下での政府決議（政府奨学金）、または教育分野での協力に関する二国間協定に基づくものです。これらについての詳細は駐日チェコ大使館にお問い合わせください。

詳細情報

- **他の一般的情報：**www.studyin.cz
- **チェコ共和国教育・青年・スポーツ省：**www.msmt.cz
- **チェコ国立学術認証情報センター（Czech National Academic Recognition Information Centre）：**www.naric.cz
- **チェコ共和国について：**www.czech.cz および www.czechcenters.cz
- **Facebook** http://www.facebook.com/pages/Study-in-the-Czech-Republic/375124682143
- **チェコ大使館**
  〒150-0012　東京都渋谷区広尾2-16-14
  電話：(+81-3) 3400-8122　ファクス：(+81-3) 3400-8124　Eメール：tokyo@embassy.mzv.cz
  www.mzv.cz/tokyo

デンマークの基本情報

デンマークは北欧に位置する国です。北欧諸国の中では最南にあり、グリーンランドやフェロー諸島をはじめ、大西洋・バルト海・北海に浮かぶ多くの島々から構成されています。デンマークは比較的平坦な国土で、人口は550万人です。「北欧のパリ」と呼ばれることもある首都コペンハーゲンには、古い歴史的な中心街があり、また網の目のように広がる遊歩道、自転車道、多くの公園があります。公用語はデンマーク語ですが、ほとんどの人は英語も理解し話すことができます。

デンマークは大変魅力的な国です。生活の質の高さは誇るべき特徴です。社会保障、クリーンな環境、魅力的なビジネス環境、そして高水準の教育と研究が揃っています。

高等教育制度

デンマークの高等教育機関は主に次の3種に分類できます。

- 研究を基盤とした学部および大学院プログラム（学士、修士、博士）を提供する大学
- 学部プログラム（専門職学士 およびディプロマのプログラム）を提供する大学カレッジや専門カレッジ
- 2～2年半の専門職育成プログラムを提供する専門高等教育アカデミー（Business Academy）

デンマークの教育制度に関する詳しい情報は、下記のウェブサイトをご覧ください。
www.uvm.dk

デンマークの大学とその他の高等教育機関は、全て英語で受講できる学位取得プログラムと個別コースとを多く揃えています。そのため外国人学生でも、交換留学生であれ学位取得を目指す正規の学生であれ、魅力的な学習機会を容易に見つけることができます。入学に関しては各機関が責任を担っています。入学資格、追加試験、単位互換の可能性に関する詳しい情報は、各機関の入学担当オフィスにお問い合わせください。

質の高い教育

高等教育の質はさまざまな方法で保証されています。国家が法的規制や資金提供を通じて高等教育に関わっており、全ての公的教育機関は継続的に承認・審査の対象となります。教育機関は高度な自立性を有していますが、同時に教師の資格、学位授与の仕組み、学習プログラムの外部評価に関しては国家の規制の下にあります。このシステムにより高等教育の全国標準が定められ、全ての機関で高水準が保証されています。全ての機関は、履修単位の国際的互換を推進する欧州単位互換制度（ECTS）を採用しています。学生はコース修了時に修了証書、ディプロマ、その他の証明書を受け取ります。正規の学位を取得、またはディプロマプログラムを修了した全学生には、英語版の学位記も授与されます。

奨学金

デンマークでは、欧州連合（EU）および欧州経済領域（EEA）以外の国の学生を対象とした新しい奨学金制度が発足しました。特定の学習プログラムに登録した優秀な学生は、奨学金と授業料の免除が受けられます。また、一部の大学と教育機関も独自の奨学金を給付しています。入学出願時に各機関にお問い合わせください。さらに、デンマークおよび欧州諸国の教育機関が提携して実施する修士課程で学ぶ場合は、エラスムス・ムンドゥスの奨学金を申請できます。

デンマークと日本の間で制定された文化協定プログラムの下、日本人学生が出願できる奨学金もいくつかあります。詳しくは下記のウェブサイトをご覧ください。
https://ufm.dk/en/education/programmes-supporting-cooperation-and-mobility/the-cultural-agreements-programme/the-long-term-scholarships/eligible%20countries/japan

交換留学生／聴講生

交換留学生や聴講生として、当該学生の所属教育機関と選択した教育機関との交換留学協定に、どのようなオプションがあるかについて、EU 域外国の学生は、自国の所属教育機関で助成金・奨学金に関する情報を確認してください。

EU の学生および EU 域外の学生はいずれも、EU のデータベース Ploteus（https://ec.europa.eu/ploteus/）に複数の奨学金のリンクが記載されていますので、ご参照ください。

査証（ビザ）の条件

デンマークへの留学をお考えの方は、下記のウェブサイトにある記載事項を全てお読みください。
http://japan.um.dk/en/going-to-dk/work-and-study/

詳しい情報

- **教育省（Ministry of Education）：**www.uvm.dk
- **高等教育科学省（Ministry of Higher Education and Science）：**https://ufm.dk/
- **文化省（Ministry of Culture）：**https://english.kum.dk/
- **デンマークで学ぶ：**https://studyindenmark.dk/
- **デンマーク大使館**

  〒150-0033　東京都渋谷区猿楽町29-6
  電話：03-3496-3001　ファクス：03-3780-8747
  http://japan.um.dk/ja.aspx

エストニアの基本情報

エストニアは、人口130万人の、バルト三国では最も小さな国です。スイスよりもやや大きな面積を持ち、北欧のバルト海沿岸に位置するエストニアは、広大な原生林と多数の川や湖、澄んだ空気、そしていつでもどこでもインターネットにアクセスできる環境が整った国です。スカイプ発祥の地、エストニアは、世界で最も革新的でITの利用が進んだ国の一つとして知られています。

エストニアの北欧文化および言語は、隣国フィンランドと多くの共通点があります。スウェーデンはバルト海をはさんだ西側の一番近い国、そしてラトビアとロシアとはそれぞれ南と東で国境を接しています。公用語はエストニア語ですが、ほとんどの人は英語を理解し、話します。

高等教育制度

エストニアの高等教育制度は、学術的教育と職業専門高等教育からなっています。高等教育は主に大学と専門高等教育機関が提供しています。

- **第1サイクル**
  学士課程の期間は通常3年で、学習量はECTS 180単位に相当します（ただし4年間で240 ECTS単位という例外もあります）。学士課程を修了すると学士号（bakalaureusekraad）が授与されます。第1サイクルの職業専門高等教育は、専攻科目により通常3～4年の学習期間（180～240ECTS単位）を要し、学習を修了すると職業専門高等教育のディプロマ（rakenduskõrgharidusõppe diplom）が授与されます。高等教育第1サイクル（学術・職業専門）の修了後、学生は修士号（magistrikraad）の取得を目指して第2サイクルに進むことが可能です。

- **第2サイクル**
  修士課程は通常、1～2年の学習期間を要し、学習量は60～120 ECTS単位に相当します。ただし学士課程の学習と合わせ、少なくとも5年（300 ECTS単位）の学習が必要です。一般的な第1・第2サイクル構造のほか、医学、歯学、薬学、獣医学、建築学、土木工学の分野は、単一で長期サイクルの学習プログラムになっています。これは通常5～6年の期間を要し、学習量は300～360 ECTS単位に相当します。
- **第3サイクル**
  博士課程の期間は通常3～4年で、学習量は180～240 ECTS単位に相当します。修了時には博士号（doktorikraad）が授与されます。

奨学金

- **外国人修士学生対象のDoRa助成金**
  エストニアの大学で英語による修士課程プログラムを履修している外国人学生に、月額288ユーロを給付します（ただし1学年度中の10カ月間）。学生は受け入れ先の機関を通じて申請します。手続きの期限および対象者の選考基準は、受け入れ機関が定めます。
- **外国人客員博士学生対象のDoRa奨学金**
  この奨学金は、エストニアの大学で研究分野にかかわらず博士課程の学習プログラムを履修する外国人博士学生に対し、1～10カ月間の研究および留学費用を給付するものです。6カ月の滞在に対する助成額はおよそ4,000ユーロです（渡航費補助を除く）。候補者の選考は受け入れ大学が行います。

この制度はEUの欧州社会基金より資金提供を受けています。

詳しくはこちらのウェブサイトをご覧ください：www.studyinestonia.ee/scholarships

詳しい情報

高等教育機関一覧、学習プログラム（英語版）、その他エストニア留学に関する詳細情報は以下で入手できます。

- www.studyinestonia.ee
- www.facebook.com/studyinestonia
- www.twitter.com/studyinestonia
- www.youtube.com/studyinestonia

エストニアでの研究に関する情報：

- http://researchinestonia.eu/
- **エストニア大使館**
  〒150-0001　東京都渋谷区神宮前2-6-15
  電話：03-5412-7281　ファクス：03-5412-7282
  メール：Embassy.Tokyo@mfa.ee
  http://www.estemb.or.jp/jp

フィンランドの基本情報

北欧にあるフィンランドは、欧州の中で最も日本に近い国であり、飛行機でわずか9時間半の距離にあります。東はロシアと接し、南にフィンランド湾、西にボスニア湾とスウェーデンがあり、北はノルウェーと接しています。首都はヘルシンキで、国全体の人口は約540万人です。公用語はフィンランド語とスウェーデン語で、人口の94%がフィンランド語を、人口の5.3%のスウェーデン系フィンランド人はスウェーデン語を話します。

福祉国家フィンランドは、限られた資源を効率的に活用して、住民に豊かな生活を保障することを目指しています。また、東西の間に位置しているという地理的条件が、フィンランドの歴史や政治に常に強く反映されており、文化面でも東西両方の影響を受けています。

高等教育制度

フィンランドの高等教育機関には、大学とポリテクニック（応用科学大学）という2種類の機関があります。これらの教育機関では学士課程は主にフィンランド語かスウェーデン語で行われますが、修士課程は英語によるコースやプログラムも多数あります。

大学は、学術研究とそれに基づく教育を行っています。2010年の大学改革で大学は国立ではなく法人か財団になったため、大学の自治は拡大し、財務運営の裁量も広がりました。合併によって新しい大学が誕生し、現在、教育文化省の管轄下にある大学は12校あります。フィンランドでは、大学に進学する場合は修士号を取得するのが一般的です。

ポリテクニック（応用科学大学）は、職業教育と地域の発展に重点を置いた教育を行っています。教育文化省管轄のポリテクニックは23校あります。ポリテクニックでは学士号を取得するのが一般的で、対象分野は人文・教育、文化、社会科学、ビジネス・経営、天然資源・環境、テクノロジー、通信・運輸、自然科学、社会サービス、健康・スポーツ、観光、外食産業、家政などです。

フィンランドでは、学士（3年間）と修士（2年間）の学位はいずれも学部の学位です。大学ではさらに、博士の前の学位である上級修士（Licentiate、2年間）と博士（4年間）の学位が取得できます。ポリテクニックでは、職業的専門性の高い学士（3年半～4年間）と修士（1～1年半）の学位が取得できます。

サマースクール、夏期大学、聴講生

1年間の交換留学より短い留学なら、サマースクールがお勧めです。夏の数週間、複数の大学が外国人学生を対象とした、さまざまな分野のサマースクールを開講しています。

また、夏期大学は、夏に外国人向けのフィンランド語学習コースを提供しています。
https://www.kesayliopistot.fi/summer-universities-in-finland/

一部の大学では、フィンランドに交換留学先のない外国人学生のための聴講生（Visiting Student）制度を設けています。

奨学金

フィンランド国家教育庁（EDUFI：Finnish National Agency For Education）では、奨学金・交流プログラムを実施するとともに、情報、アドバイス、出版物の提供を行っています。フィンランド留学の奨学金についての詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

- フィンランド政府奨学金：
  修士号を取得した日本人を対象とする最大9カ月間の奨学金で、博士課程の学生に優先的に支給されます。申請期間は例年12月から1月で、日本学生支援機構のウェブサイトで告知されます。
  https://www.studyinfinland.fi/scholarships/bachelors-and-masters-scholarships

授業料と生活費

フィンランドの大学では、学士課程および博士課程で学位取得を目指す学生は、授業料が無料です。しかし、英語で行われる一部修士コースの場合、欧州連合（EU）域外の学生には授業料を課すことがあります。英語による修士コースの授業料については、各大学にお問い合わせください。

生活費は月額平均でおよそ700～900ユーロですが、居住地域により異なります。
http://www.studyinfinland.fi/tuition_and_scholarships

詳しい情報

- **フィンランドセンター**
  〒106-8561　東京都港区南麻布3-5-39
  電話：03-5447-6037　ファクス：03-5447-6041　Eメール：info@finstitute.jp
  www.finstitute.jp
- **Study in Finland（EDUFIによる留学情報サイト）**
  www.studyinfinland.fi
- **Studyinfo.fi（フィンランドの大学の検索サイト）**
  https://studyinfo.fi/wp2/en/

フランスで学ぶ

世界第5位の経済大国、フランスの高等教育機関で学ぶ外国人学生はおよそ33万人、学生全体の12%を占めています。フランスは英国、ドイツと並んで、欧州で最も留学生の受け入れの多い国となっています。

高等教育制度

フランスの高等教育制度は8世紀もの伝統に裏付けされています。3,500を超える公立・私立高等教育機関の多角的なネットワーク、そして国際的に評判の高い研究センターを有するフランスは、一流の教育プログラムを提供しています。ネットワークを構成するのは、26の研究・高等教育グループに分類される70を超える大学と、およそ500のグランゼコールです。グランゼコールはフランス特有のシステムで、200の工学系グランゼコール、200のビジネス・経営グランゼコール、50の公立美術学校、20の建築専門校から構成されています。加えて、3,000を超える専門学校・教育機関があり、社会福祉、パラメディカル、観光、スポーツ、体育、ファッション、デザインといった特定分野の教育を行っています。

フランスの高等教育機関では、科学、テクノロジー、文学、言語、芸術、社会科学、法律、経済、経営など、あらゆる学問分野を学ぶことができます。検索エンジンとデータベースは、Campus France のウェブサイトのトップページ（www.japon.campusfrance.org > 教育機関の検索）からご利用になれます。取得したい学位、ディプロマのレベル、授業で使われる言語別にプログラムを検索することが可能です。なお、フランスの大学とグランゼコールでは現在、多数の短期・長期プログラムが英語で実施されています。

フランスの高等教育で得られる学位は、欧州共通の体系である LMD システム（学士、修士、博士）に沿っています。つまり、中等教育を終えた後に履修した学期の数と、それを欧州単位互換制度（ECTS）に基づいて計算した欧州単位相当数を基準に授与されます。

フランスでの研究

フランスの経済的成功の理由は、宇宙、運輸、電子工学、電気通信、物理、バイオテクノロジー、保健衛生、数学の分野における研究能力の高さと優れた業績にあります。フランスでは、GDP の2.27%が研究開発に支出されています。こうした努力により、フランスは欧州特許制度の下で4位、国際特許申請出願数では6位の国となっており、フィールズ賞やノーベル賞の授賞者も多数輩出しています。またフランス国立科学研究センター（CNRS）は、発表数を誇るも世界最先端の研究機関です。研究と高等教育分野の新しいネットワークの確立は、知識経済大国として高い評価を維持していくというフランスの決意を再確認できるものでしょう。

総数250を超える博士課程のプログラムは、全国各地におよそ1,200ある研究センターとの協力の下、学生がさまざまな研究分野でキャリアを積むのに役立っています。多数の外国人学生がフランスの博士課程プログラムを選んでおり、現在、博士課程の学生の41.1%が外国人学生です。

授業料と生活費

フランスでは GDP の1.5%が高等教育に充てられており、フランスの学位の質と認知度を確かなものにしています。フランス中央政府は公的機関で受ける教育にかかる実質的費用を大部分負担しており（学生一人当たり年間10,000 ～ 14,000ユーロ）、学生の授業料の負担を軽減しています。実際、フランスの公的機関の授業料は世界的にも極めて低く、そこで質の高い学位を取得すれば、非常に高い費用対効果を得られます。さらにフランスの大学・教育機関では、外国人学生とフランス人学生の間に区別を設けていません。入学資格や授業料に差はなく、同じ学位を取得できます。

学生はまた、日常生活でもさまざまな割引や特別サポートが受けられ、生活の質を大きく高めることが可能です。最新で利用しやすい全国医療システム、効率的で低料金の公共交通機関、広く利用されている家賃補助制度などが挙げられます。また、廉価なレストランがあることに加え、美術館やスポーツイベントについても学生には割引料金が適用されます。多種類の学生割引が利用できることを考慮すれば、学生の毎月の平均的な生活費は、パリで1,000ユーロ、その他の都市で800ユーロとなります。

奨学金・助成金

フランス政府は毎年、特定の国々の学生に一定件数の奨学金を給付しており、毎年フランス政府給費留学生の募集を行っています。フランスの高等教育プログラムで学ぶ候補者全員に申請資格があり、レベルや学問領域、フランス語によるプログラムか英語によるプログラムかを問いません。日本人学生のためのフランス政府給費留学生募集に関する詳細情報は、フランス大使館のウェブサイトをご覧ください。（www.ambafrance-jp.org/article3995）

その他の奨学金制度についての情報は、検索エンジン・データベースの CampusBourses をご利用ください。フランス留学を希望する外国人学生・若手研究者に開かれているほぼ全ての助成プログラムについて、複数の検索条件を組み合わせて検索することができます。このデータベースには、中央・地方政府機関、企業、財団、学術研究機関、在外フランス大使館、外国政府・機関、多国間組織が運営する600を超えるプログラムが含まれています。キーワード、またはあらかじめ決められている検索条件（国籍、学問分野、学習レベル、助成の種類）を使い、自分のバックグラウンドと計画に合致するプログラムを探し出すことが可能です。各プログラムの詳細情報および運営団体のウェブサイトへのリンクが提供されています。CampusBourses は、Campus France のウェブサイトのトップページからアクセスしてください。（www.japon.campusfrance.org > 奨学金）

お問い合わせ

Campus France – フランス政府留学局・日本支局

- **東京メインオフィス**
  〒106-8514　東京都港区南麻布4-11-44　フランス大使館内
  Tel. 03-5798-6266
  tokyo@campusfrance.org
- **関西オフィス**
  〒606-8301　京都市左京区吉田泉殿町8　アンスティチュ・フランセ関西－京都内
  Tel. 075-761-2121
  kyoto@campusfrance.org
  Facebook：www.facebook.com/cfjapon
  Twitter：@campusfrance_jp

ドイツの基本情報

ドイツ連邦共和国は欧州の中心に位置しており、豊かな伝統と活気あふれる現在を特徴とするコスモポリタンな民主主義国家です。デンマーク、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、フランス、スイス、オーストリア、チェコ、ポーランドと国境を接しており、人口は約8,290万人。ヨーロッパで最も人口の多い国です。主な都市としては、首都のベルリンをはじめ、北部のハンブルク、南部のミュンヘン、西部のケルン、中央のフランクフルトが挙げられます。ドイツは世界的な経済大国であり、革新的な研究・教育環境を提供しています。同時にまた、強力な創造経済とダイナミックな文化の国でもあります。

経済：世界市場の強国

ドイツは欧州連合（EU）最大の経済を有し、世界的にも第4の経済大国です。ドイツはまた世界第3の輸出国でもあります。ドイツ企業は優れた国際的評価を得ています。ドイツ企業の誇る「メイド・イン・ジャーマニー」は、革新的で質の高い先端テクノロジーの証です。ドイツの工業主導の経済は、有名多国籍企業だけでなく、中小企業からも世界的な市場リーダーを多数輩出していることが特徴です。主要産業としては、自動車、機械、電気機器、化学、環境技術、ナノテクノロジーが挙げられます。

科学と研究：革新的な教育・研究環境

ドイツは「発想の国」です。教育と学習、そして研究・開発がきわめて重視されています。ドイツにはおよそ400の高等教育機関があります。欧州諸国中、特許登録数ではトップに立ち、日本・米国と並んで世界で最も革新的な国の一つとなっています。ドイツ人のノーベル賞受賞者84名のうち、71名が自然科学分野で受賞しています。またマックス・プランク協会、フラウンホーファー研究機構、ライプニッツ協会、ヘルムホルツ協会といった大学外の研究組織が、その傘下の数百もの機関と合わせて、研究者に理想的な研究環境を提供しており、国際的に高く評価されています。

高等教育制度

ドイツの高等教育機関は世界中で優れた評判を獲得しています。ドイツの学位は高く評価され、教育と研究が革新と進歩の大きな弾みとなっています。教育機関は最先端の設備と研究室を誇り、学生の研究に申し分のない環境を提供しています。115の大学、212の専門大学、57の芸術系大学およびその他を合わせて約400の高等教育機関が、他に負けない魅力的な授業料で、学位取得のための約2万弱の課程を提供しており、ドイツの高等教育環境を多様で利用しやすいものにしています。これらの大学で多くの学問領域がカバーされており、ほとんど全ての専攻・研究プロジェクトを遂行できるチャンスが開かれています（www.study-in.de）。

さらに、ドイツの大学の多くは英語で受講できるコースを提供しており、国際的に認知される学士・修士・博士の学位が取得可能です（www.daad.de/idp）。今日、ドイツでは約36万人の外国人学生が学んでおり、大変人気の高い留学先となっています。ドイツの大学生の12%以上は外国籍の学生です。主な学問分野は、工学、自然科学、経済、ビジネス・経営、芸術、音楽、建築、デザインです。

ドイツにはさまざまな種類の研究所があります。公的に資金提供を受けている研究機関はドイツ全体で1,000を超え、ほかに企業が運営する研究開発センターもあります。年間の研究予算は約890億ユーロに上ります（www.research-in-germany.de）。

授業料と生活費

留学先として人気の高い他の国に比べ、ドイツは低費用で留学できる国です。国立の高等教育機関が国費の支援を大きく受けているためです。その結果、ドイツの国立大学の学部課程の授業料は一般的に無料、修士課程も多くの場合無料です（例外：バーデン＝ヴュルテンベルク州）。博士号取得志願者の授業料は一般的に無料です。生活費は、住む地域にもよりますが、毎月約850ユーロです。

奨学金と助成金

奨学金は多種多様な選択肢があります。ドイツ学術交流会（DAAD）とならび、若手科学者を支援する大手財団も、アレクサンダー・フォン・フンボルト財団、フォルクスワーゲン財団など多数あります。さらに大学や大学外研究組織も独自のプログラムを提供しています。DAAD および他の奨学金給付機関のプログラムの詳細は、以下のウェブサイトでご覧ください。www.funding-guide.de、www.research-in-germany.de

詳しい情報

- **ドイツ学術交流会（DAAD）東京事務所　www.daad.jp**
  〒107-0052　東京都港区赤坂7-5-56　Facebook/Twitter：@daadtokyo
- **ドイツ文化センター（ゲーテ・インスティトゥート）www.goethe.de/japan**
  〒107-0052　東京都港区赤坂7-5-56
- **ドイツ大使館　japan.diplo.de**
  〒106-0047　東京都港区南麻布4-5-10

ギリシャの基本情報

ギリシャは、欧州、アジア、アフリカの三大陸が交わる場所に位置し、山がちな半島状の本土はバルカン半島の最南端にあって地中海に突き出しています。複雑に入り組んだ海岸線と島嶼を有することから、海岸線総延長は世界で11番目に長く、13,676km もあります。本土を取り囲む海に浮かぶ約6,000もの大小の島々はほとんどが無人島で、有人島の数は227です。

古代から続く豊かな歴史を誇り「西洋文明のゆりかご」としても知られているギリシャは、私たちの生活を秩序立て豊かにしている政治、哲学、科学等、重要な思想や発明の誕生の地として、過去と現在を結ぶ貴重な体験を提供します。温暖な気候に恵まれたギリシャで、ギリシャ人のホスピタリティが外国人留学生を元気づけ、すぐに現地の生活に溶け込むことが出来るようになるでしょう。

高等教育制度

ギリシャの高等教育は、大学教育と技術（専門）教育に分かれています。

学士課程

- **大学教育**
  大学教育システムは、大学（universities）、工科大学（polytechnics）、美術大学（Higher Fine Arts Institute）、オープン大学（Greek Open University）から構成されています。ギリシャには全国各地に22の国公立大学があります。基本的に2学期制の4年制大学で、授業は13週間、試験期間は3週間です。学科を全て履修した学生は、学位（学部によりディグリーまたはディプロマ）を授与されます。
- **技術（専門）教育**
  技術教育機関（TEI）では科学的データを製造工程に応用することに重点を置いています。コース内容は、大学よりも実務的なものとなっています。学習期間は4年で、最終学期には希望する職業の職場体験をし、評価を受けることができます。TEI では、グラフィックアートおよび美術研究、経営・経済、ヘルスケア、応用技術、食品技術・栄養、農業技術、音楽技術の専門分野を学ぶことができます。

- **高等職業訓練**
  ギリシャの高等教育には上記のほかに、宗教、芸術、観光、軍事、公安の分野の職業訓練を提供するさまざまな教育機関もあります。

修士課程

修士の学位取得を目指します。特定の分野の専門性を高めることを目標とし、ギリシャの大学では合計213、オープン大学では10の修士課程が用意されています。修士課程を修了した学生は修士号を授与されます。大学または TEI を卒業した者が対象で、入学資格審査または口頭・筆記試験の結果を基に選抜されます。入学希望者には少なくとも外国語1カ国語の知識が求められます。コースの期間は最低1年です。

博士課程

博士の学位取得を目指します。博士課程の目標は、戦略的分野における高度な専門知識を有する研究者の養成と、国の科学基盤の強化を目的としたさまざまな学術分野における基礎研究の促進にあります。大学院を併設する大学の場合、博士学位を取得するには修士学位を取得していることが条件となっています。大学院のない大学では、一定の条件を満たした学生に博士論文執筆の許可が与えられます。入学条件は各研究科が定めます。

入学の条件

各大学および TEI の学部・学科ごとの定員は、毎年 教育・学術・宗教省（Ministry of Education, Research and Religious Affairs）が定めます。高等教育機関に入学する基本条件として、高校卒業証明書の取得があります。外国人学生の場合は希望する学部・学科への入学申請をギリシャ教育・宗教省に提出し、当該国の卒業証明試験の成績に基づいて入学が許可されます。

授業料

国公立大学の授業料は基本的に無料ですが、オープン大学（Greek Open University）における特定の課程や専攻など、一部例外があります。欧州連合（EU）域外の国の外国人学生（非 EU 学生）は、授業料と支給される教科書類にかかる費用の一部を自己負担します。

奨学金

- 教育・学術・宗教省は、主として、大学院教育や博士課程後の研究あるいはギリシャ語・ギリシャ文明を専攻する外国人学生に奨学金を給付しています。申請は自国のギリシャ大使館・領事館等を通して提出します。詳しくは次のウェブサイトをご覧ください。www.minedu.gov.gr
- **ギリシャ政府奨学金財団（The State Scholarships Foundation〈I.K.Y.〉）**は、ギリシャで大学院教育や博士課程後の研究を行う外国人、および現代ギリシャ語・文化のセミナー参加者に奨学金を給付しています。大学院教育や博士課程後の研究のための奨学金プログラムは毎年1月または2月に発表されます。奨学金の対象は、次の国の国籍を持つ外国人（ギリシャ系の外国人を含む）です。（a）EU 加盟国、アイスランド、ノルウェー、スイス、米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、日本、（b）バルカン諸国、中・東欧諸国（EU 非加盟国）、アジア諸国、アフリカ諸国、中南米諸国。現代ギリシャ語・文化セミナー参加者のためのプログラムの対象は、外国大学の人文科学系を卒業し、欧州、北米・南米、アジア、アフリカ、オセアニア諸国の国籍を持つ者となります。詳しくは次のウェブサイトをご覧ください。www.iky.gr
- **非政府機関**にもさまざまな奨学金制度があります。例えば、オナシス財団（Alexander S. Onassis Public Benefit Foundation〈www.onassis.gr〉）は研究助成金および教育奨学金を給付しています。対象となるのは、ギリシャ国籍者を除く各国の国立アカデミー正会員、全ての等級を含む大学教授（博士号所持者）、大学院研究者（博士号保有者）、芸術家、外国語としてのギリシャ語を教える初等・中等教育の教師、修士課程の学生、博士課程の学生です。

詳しい情報

- **Study in Greece：**https://www.studyingreece.edu.gr/

Hungary ハンガリー

ハンガリーの基本情報

- 国土面積：9万3,000㎢（南北：250km、東西：524km）
- 人口：970万人
- 首都：ブダペスト（人口：170万人）
- 主な地方都市：デブレツェン、セゲド、ミシュコルツ、ペーチ、ジュール
- 気候：乾燥大陸気候で四季がある
- 政体：共和制
- 通貨：フォリント（HUF）
- タイムゾーン：中央ヨーロッパ時間（GMT + 1）日本との時差：8時間）
- 隣接する国：オーストリア、クロアチア、スロヴァキア、スロヴェニア、セルビア、ルーマニア、ウクライナ

ハンガリーの公用語はフィン・ウゴル語派であるハンガリー語で、中央ヨーロッパに位置しながら周りの国とは言語体系が異なっています。英語も広く話され、英語以外の言語ではドイツ語がしばしば使われます。

ハンガリーは、旅行に行ってみたい国ランキングの25位以内に入っています。首都ブダペストはドナウの真珠と呼ばれ、最も美しい街の一つとして一見の価値があります。ハンガリーの世界遺産は次の8つです：ドナウ河岸、ブダ城地区およびアンドラーシ通りを含むブダペスト、ホローケーの古村落とその周辺地区、アグテレック・カルストとスロヴァキア・カルストの洞窟群、パンノンハルマのベネディクト会修道院とその自然環境、ホルトバージ国立公園 - プスタ、ペーチ（ソピアネ）にある初期キリスト教墓地遺跡、フェルテー湖 / ノイジードラー湖の文化的景観、トカイワイン産地の歴史的文化的景観です。

また、ハンガリーは400を超える温泉と多数のスパがある温泉大国でもあります。

学術的には、科学分野でのノーベル賞受賞者の人口に対する割合がとても高いことで知られており、研究そして技術分野において可能性が高い国です。これまで産学連携で社会に利益を生み出してきました。主な発明、業績として、セントジュルジ・アルベルトのビタミンCに関わる発見、今日最も使用される文房具であるといっても過言ではないボールペンはビーロー・ラースローが発明し、作曲家コダーイ・ゾルターンは今日日本でもよく知られている音楽教育システムであるコダーイ・メソッドを提唱しました。コンピューター、ディーゼルエンジン、ヘリコプター、安全マッチ等もまたハンガリー人による発明です。

高等教育制度

ハンガリー高等教育データ

- 国内最初の大学は1367年に設立
- 高等教育機関の数は65（その内87%は国立、6%は教会、7%は私立）
- 留学生プログラムを提供している高等教育機関の数は44、外国語プログラムの数は1,300で、そのほとんどは英語
- 留学生の数は約3万人（国内の全大学生数の10%）
- 大学は秋学期と（9月～1月）、春学期（2月～6月）の2学期制

ハンガリーで取得した学位は世界中で受け入れられています。学費は大学、専攻、課程によってまちまちですが、最も費用がかかるのは医学部で、1学期約8,500ユーロです。その他、工学系約2,250～4,500ユーロ、IT系約3,300ユーロ、経済系約2,500ユーロ、国際関係約1,500～2,000ユーロ。（全て1学期あたり）ハンガリー政府は学費の負担を軽くする留学生への奨学金を提供しています。詳しくは奨学金の欄でご確認ください。

ハンガリーはヨーロッパのボローニャ・プロセスに参加し、欧州単位互換制度（ECTS）を使用しているため、高等教育で取得できる学位は学士・修士・博士となります。

- 学士課程：学位は BSc もしくは BA で学習期間は3～4年
- 修士課程：学位は MSc もしくは MA で学習期間は1～2年
- 博士課程：学位は PhD もしくは DLA で学習期間は2+2年

※ただし、医学、薬学、歯学、建築学、法学専攻は学士・修士一体型となり、学習期間は5～6年です。

ハンガリー留学の魅力

- ハンガリーでの生活費は大抵日本より良心的です。次のリンクから日本円でハンガリーでの生活費のシミュレーションをすることができます。
  http://studyinhungary.hu/living-in-hungary/menu/your-costs-of-living.html
- 生活環境も学習環境も安全でフレンドリー、そして、指導者のバックアップや留学生同士のネットワークで孤独を感じずに留学生活を送ることができます。
- ハンガリー留学はヨーロッパ留学をも意味します。ヨーロッパの学位を持っていれば、グローバルに仕事をすることも不可能ではありません。是非学位の取得はハンガリーで！
- ハンガリーに留学すれば、文化遺産の宝庫に触れながら、刺激的な学生生活を世界遺産の恩恵の中で楽しむことができるという充実した日々が待っています。
- IT、医学部、芸術、工学、経済そして農業――ハンガリーの教育は、分野を問わず伝統と新しいトレンド、イノベーションが見事に融和しています。

奨学金

ハンガリー政府 Stipendium Hungaricum 奨学金

ハンガリー政府 Stipendium Hungaricum 奨学金は、2013年にハンガリー高等教育機関での勉強を通して色々な国の学生を支援することを目的として、ハンガリー政府により発足しました。この奨学金はハンガリー人材省とパートナー機関の間で締結された協定ならびに覚書に基づいていて、日本のパートナーは、文部科学省です。

日本人は、学士課程、修士課程、学士・修士統合型、博士課程（課程にもよるが学習期間は6年以内）、短期／交換留学（学習期間は10カ月以内）が対象となります。短期留学は、リスト音楽院のパートタイム学習のような専門課程や、語学準備コース等が対象となっています。

データ：

- 奨学金に参加する高等教育機関は28校
- 正規課程とノンディグリー合わせてプログラム数は約500。そのほとんどは英語
- 対象となるのは世界5大陸から70カ国（地域含む）。さまざまな国の学生とのネットワークづくりが可能
- 現在（2018年）ハンガリー政府 Stipendium Hungaricum 奨学生は5,303名
- ハンガリーで学ぶ日本人留学生数の22%が、ハンガリー政府 Stipendium Hungaricum 奨学生
- また留学先にハンガリーを選びたいと考えている Stipendium Hungaricum 奨学生は90%、実際に再びハンガリーに留学をしたのは70%

待遇（2018年現在）：

- 授業料免除
- 月額奨学金
  - o 学士課程、修士課程、学士修士統合型、ノンディグリー：40,460フォリント（約120ユーロ）
  - o 博士課程：前半（4セメスター）140,000フォリント（約430ユーロ）
    後半（4セメスター）180,000フォリント（約550ユーロ）
- 学生寮の無償提供もしくは住居費として毎月40,000フォリント（約120ユーロ）支給

※奨学金の募集は、例年秋の中旬から終わりにかけて開始します。募集要項、詳細は：http://stipendiumhungaricum.hu

ハンガリー政府奨学金

日本人が対象となるのは次のコースである：

- Partial studies: 学士、修士、博士課程に在籍中かつハンガリーでハンガリー語やハンガリー文化を専攻する者が対象となり、学習期間は1～2セメスター。
- Research: 既に修士号以上を取得している者を対象とし（取得予定者含む）、分野は問わず、学習期間は3日～10か月。
- 夏期コース：主なコースはハンガリー語と文化で、期間は2～4週間。

※この奨学金の待遇は、月額奨学金、住居費、学生証の発行ですが、正確な内容はコースによって決まります。募集開始は例年秋の終わり頃で、申し込み締め切りは、冬の終わり頃もしくは春である。詳細は http://scholarship.hu

詳しい情報

- **Study in Hungary（http://studyinhungary.hu）**→ハンガリーでの生活、高等教育、大学、奨学金についての情報が満載です。
- **Study Finder（http://studyinhungary.hu/study-in-hungary/menu/find-a-study-programme/study-finder.html）**
  →ご希望に合ったコース、ロケーション等を検索する事ができます。
- **ハンガリーへの渡航、ビザについてのご質問：**
  ハンガリー大使館
  〒108-0073　東京都港区三田2-17-14
  電話：03-5730-7120　ファクス：03-3798-8812
  https://tokio.mfa.gov.hu/jpn
  Tempus Public Foundation について：
  奨学金の運営は Tempus Public Foundation (TPF) が行っています。
  TPF は非営利団体で、1996年にハンガリー政府により設立されました。
  その任務は、教育の分野においての国際的な連携とモビリティー・プログラムです。
  ホームページ：https://tka.hu/english

アイルランドの基本情報

アイルランドは欧州の西端、大西洋とアイルランド海の間に位置する島国です。中央部に広がる低地の周りを丘陵地帯が取り囲み、沿岸部にもいくつかの山があるアイルランドは、美しい自然が手つかずのまま残っていることで有名です。アイルランドは首都ダブリンの現代的な都会だけでなく、歴史に彩られた昔のままの田舎町や、豊かな自然が魅力の美しい国です。

およそ476万の人口を有するアイルランドは英語を公用語とする安全な国で、ますます人気の高まる留学先として世界各地から学生が集まっています。アイルランド人の親しみやすさや陽気な気質は評判が高く、世界各国から留学生を温かく迎えています。

グーグル、フェイスブック、ツイッター、アップル、インテルをはじめ、世界有数のグローバル企業がアイルランドに国際拠点、欧州・中東・アフリカ本部を置いています。インターン体験を含むコースもあるので、アイルランド留学を通して学習とキャリア形成が同時に体験できます。

高等教育制度

最高の教育を提供するというアイルランドの確固たる信念に基づいた教育水準の高さは、世界中で高く評価されています。アイルランドの高等教育制度の対象範囲は広く、公立の総合大学（University）、技術系高等教育機関・工科大学（Institute of Technology）、教員養成カレッジ、そして独立した私立カレッジに分かれます。海外留学生の入学条件は各機関が独自に定めており、一般的には出身国の試験結果と英語の能力が基準となります。アイルランドの各高等教育機関のリストは https://www.educationinireland.com/en/Where-can-I-study-/ をご確認ください。

アイルランドの高等教育機関で取得可能な学位・資格は次のとおりです。

- **高等教育修了証書（Higher Certificate）**：2年間のフルタイムのコース
- **普通学士号（Ordinary Bachelor's Degree）**：3年間のフルタイムのコース
- **優等学士号（Honours Bachelor's Degree）**：通常3～4年間のコース
- **卒業証書（Graduate Diploma）**：大学を卒業した後、あらためて職業教育を受ける学生が対象。通常1年間のコース
- **修士号（Master's Degree）**：調査研究または講義の履修による。通常1～2年間
- **博士号（PhD）**：通常は、独自性のある研究を3年以上行うことが条件。1学年は通常9月から6月とし、2学期または3学期に分かれている。

授業料と生活費

アイルランドの大学の授業料は、プログラムや期間、ヨーロッパ圏または非ヨーロッパ圏の学生かによって金額が変わりますが、学部生は通常9,750～24,958ユーロ（年間）の範囲内です。選んだ教育機関の地域、宿泊場所のタイプ、そしてライフスタイルや個人の出費傾向によって生活費は変わりますが、年間8,000～12,000ユーロが平均です。

奨学金

海外からの留学生を対象にした奨学金制度があります。政府、高等教育機関やその他の組織など、アイルランドのさまざまな組織が奨学金制度を提供しています。

条件は各組織の基準に基づいていますので、詳細については https://www.educationinireland.com/en/How-Do-I-Apply-/Tuition-Costs-Scholarships/ をご確認ください。

詳しい情報

- **アイルランドの教育（Education in Ireland）**：www.educationinireland.com
- **アイルランド高等教育局（Higher Education Authority）**：http://hea.ie/
- **アイルランド品質保証・資格認定機構（Quality and Qualifications Ireland）**：www.qqi.ie
- **全国資格枠組み（National Framework of Qualifications）**：www.nfq.ie/nfq/en
- **アイルランド海外学生カウンシル（Irish Council for International Students）**：
  https://www.internationalstudents.ie/
- **アイルランド大使館**
  〒102-0083　東京都千代田区麹町2-10-7　アイルランドハウス
  電話：03-3263-0695　ファクス：03-3265-2275
  https://www.dfa.ie/irish-embassy/japan/

イタリアの基本情報

約6,050万の人口と約30万1,000km²の国土を擁すイタリアは、アルプス山脈から地中海の中央に伸びたイタリア半島と、シチリアやサルデーニャなどの島々から構成されています。北から南まで20州に分かれ、それぞれの地域が独特の自然、歴史、文化の魅力であふれています。

地中海文化圏の中心に位置するイタリアは、さまざまな国と交流して多様な民族を受け入れ、まさに異文化の交差点という役割を果たしてきました。このような歴史を背景にした国際的な環境は生活や学びの場でも実感できることでしょう。

高等教育制度

イタリアの高等教育は、1088年に創設された欧州最古のボローニャ大学をはじめとした伝統ある高等教育機関（大学、美術学院、音楽院など）が全国各地に多数あり、その質やレベルで世界的に高い評価を受けています。このことは、高い学術水準と国際的で魅力ある高等教育を提供する「欧州高等教育圏」でイタリアが重要な役割を果たしていることを明確に裏付けています。

現在イタリアには、イタリア教育大学研究省が管轄する大学が97校（国公立大学67校、私立大学19校、通信制大学11校）あります。多くの大学では、幅広い分野で英語による学位取得コースが充実し、世界各国から集まる教授陣、研究者、学生で国際的な学びの場が作りだされています。

イタリアの高等教育制度は、3つのレベルに分かれています。

- 第1レベル：3年の基礎課程 Bachelor's degree programme
- 第2レベル：2年の専攻課程 Master's degree programme

＊一部の専門分野は第1と第2レベルが連続した5～6年制の一貫コースを取っています。

- 第2レベルと第3レベルの各レベル： 実践的なスキルに重点を置いた1年制の専門マスターコース Professional Master/ Specializing Master
- 第3レベル： 博士課程 Research Doctorate/ PhD

学位取得を目的としない単科コース（聴講）もあり、半期か通年で受講できます。

イタリアの高等教育で芸術が学べる主な教育機関は美術学院と音楽院です。これらの教育機関は、世界的に活躍する多数の芸術家を輩出し、それぞれの特色を活かした魅力的な教育を行っています。主として、第1レベル：3年の基礎課程（＊出願資格は日本の高等学校卒業）と第2レベル：2年の専攻課程（＊出願資格は学士号取得）があります。

現在、美術学院と音楽院の授業はイタリア語で行われており、入学に際してイタリア語能力が必要とされます。近年は一部の美術系専門学校でイタリア大学省認定の学位取得コースが開講され、英語によるコースも多数あります。

日本においてイタリアの高等教育機関への留学手続きは、イタリア文化会館が行っています。

教育機関のカテゴリーや留学するコースによって手続き期間・内容が異なりますので注意が必要です。詳しくはイタリア文化会館ウェブサイト・イタリア留学総合サイト「Study in Italy」（www.studyinitaly.jp）、あるいは同館が発行するイタリア留学総合案内「イタリア留学ガイド」をご覧になるか、書面で同館にお問い合わせ下さい（書面での質問方法は、上記ウェブサイト、および「イタリア留学ガイド」内でご案内しています）。

授業料と生活費

イタリアの大学、美術学院、音楽院のほとんどが国公立であり、授業料はおおよそ16～21万円です。私立大学の授業料は国公立にくらべて高めに設定されています。

生活費は、生活スタイルや住む都市・地域によって異なりますが、1カ月当たりの生活費の目安はおおよそ10～13万円です。ミラノやローマのような大都市の物価は東京と同程度ですが、地方の物価は大都市ほどではなく生活費を低く抑えられます。

奨学金

イタリア政府は国立の大学・美術学院・音楽院・研究所などに留学する日本人を対象に奨学金を給付しています。本奨学金の募集や手続きはイタリア文化会館が行っています。応募方法等の詳細は、同館で毎年春に発表する「イタリア政府奨学金留学生募集要項」をご覧下さい。

なお、イタリアの教育機関や諸団体が給付している奨学金については、給付先に直接お問い合わせ下さい。

イタリア高等教育機関情報

- **イタリア文化会館イタリア留学総合サイト「Study in Italy」（日本語）**
  www.studyinitaly.jp
- **イタリア教育大学研究省イタリア高等教育ポータルサイト「UNIVERSITALY」（英語、伊語）**
  www.universitaly.it
- **イタリア外務・国際協力省ポータルサイト「Study in Italy」（英語、伊語）**
  https://studyinitaly.esteri.it/
- **イタリア大使館**
  〒108-8302　東京都港区三田2-5-4　Tel: 03-3453-5291
  Eメール：ambasciata.tokyo@esteri.it　ウェブサイト www.ambtokyo.esteri.it/ambasciata_tokyo
- **イタリア文化会館**
  〒102-0074　東京都千代田区九段南2-1-30　Tel: 03-3264-6011
  E-mail：iictokyo@esteri.it　ウェブサイト www.iictokyo.esteri.it

ラトビアの基本情報

ラトビアは北東欧の比較的小さな国です。バルト海東部に面し、ベラルーシ、エストニア、リトアニア、ロシアと国境を接しています。交易の要衝にある国として長い間、西欧とロシアをつなぐ懸け橋となってきました。総人口190万のうち、3分の1弱が首都リガに住んでいます。ラトビアの景観は低地の平原となだらかな丘陵が目を引きます。

広大な河川網や、数千を数える湖沼もラトビアの特徴です。数百キロに及ぶ自然のままの海岸線は松林や砂丘、そして果てしなく続く白い砂浜で覆われています。公用語はラトビア語です。広く使われている外国語は英語、ロシア語、ドイツ語です。

高等教育制度

高等教育制度は二層構造を取っています。大学および高等教育機関の大半は、学術プログラムと職業専門プログラムの両方を提供しています。学術的高等教育プログラムは、基礎科学もしくは応用科学またはその両方を基盤とし、学士号や修士号の取得を目指すものです。学士号は3年もしくは4年の履修後に授与されます。学士号は一定要件を満たした学術的な資格とみなされます。修士号の取得には、学術的高等教育の第2段階（1年から2年）を修了することが求められます。医学と歯学の分野では、学士号や修士号は授与されませんが、医学と歯学の学位は修士号に相当します。博士後期課程は、機関により3年もしくは4年のプログラムです。

ラトビアには6つの大学があり、その他にもいくつかの高等教育機関があります。全ての大学と、27の高等教育機関（カレッジ17校を含む）は国立です。さらには、20の私立の教育機関があり（カレッジ7校を含む）、いずれも国家の認定を受けています。国家に認定された高等教育機関は全て、自治運営されています。

奨学金

ラトビアの高等教育制度は外国人学生にも門戸が開かれています。ラトビアの教育科学省は、国立の高等教育機関で学習・研究を行う、もしくはサマースクールを受講する、特定国の学生および教員に奨学金を給付しています。ラトビアの奨学金に申請資格のある国は以下の通りです。アゼルバイジャン、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、クロアチア、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ジョージア、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、インドネシア、イスラエル、イタリア、日本、カザフスタン、キルギス、リトアニア、メキシコ、モルドバ、ノルウェー、ペルー、韓国、スロヴァキア、スペイン、スウェーデン、スイス、タジキスタン、中国、トルコ、トゥルクメニスタン、ウクライナ、ウズベキスタン、米国。

http://www.viaa.gov.lv/eng/scholarships_gov/latvian_scholarships/

詳しい情報

- **教育科学省：**http://www.izm.gov.lv/en/
- **ラトビア学術情報センター：**www.aic.lv/portal/en
- **国立教育開発機関：**State Education Development Agency: http://www.viaa.gov.lv/eng/international_cooperation/scholarships_gov/latvian_scholarships/
- **ラトビア大使館**
  〒150-0047　東京都渋谷区神山町37-11
  電話：03-3467-6888　ファクス：03-3467-6897
  http://www.mfa.gov.lv/jp/japan/

リトアニアの基本情報

リトアニアはバルト三国の中で最大の国です。バルト海に面し、ラトビア、ポーランド、ロシアのカリーニングラード州、そしてベラルーシと国境を接しています。首都はヴィリニュス。人口は280万をやや超えており、公用語はリトアニア語です。

歴史的建造物あふれる都市や町、そして手つかずの大自然が美しい行楽地など、リトアニアには誰もが楽しめる場所が多数あります。地理的には欧州の中心に位置すると公式に認められており、他の欧州の大都市と無数の交通網で結ばれているリトアニアへは、陸路、水路、空路で容易にアクセスできます。

高等教育制度

リトアニアの高等教育機関はさまざまな期間やレベルの学習プログラムを提供しています。高等教育機関は大学とカレッジ（大学ではない高等教育機関）の2つに分かれます。大学では、普遍的な学術教育と理論的トレーニング、そして高度な専門知識を提供します。カレッジの高等教育は職業訓練に重点が置かれ、実務トレーニングが学習プログラムの少なくとも3分の1を占めます。カレッジで教えるのは応用科学です。リトアニアには41の高等教育機関があります。その内訳は、国立大学12校、私立大学7校、国立カレッジ12校、私立カレッジ7校となっています。学習は、学位取得向けプログラム、または学位なしのプログラムに沿って実施されます。また、フルタイムとパートタイムに分かれているものもあります。これらは次の3つのサイクルに従って構成されています。

- **第1サイクル：**専門職学士（Profesinis bakalauras）の学位取得を目指す学部課程です（カレッジで実施）。カレッジにおけるフルタイムの履修期間は通常3年、パートタイムは4年です。もしくは、学士（Bakalauras）の学位、および／または専門職の資格を目指す学部課程もあります（大学で実施）。大学における継続的な学士課程の場合、最も一般的な期間は4年間です。また、期間を延長した学士課程の場合は、通常5年間です。
- **第2サイクル：**学士号取得後、修士（Magistras）の学位取得を目指す課程です。修士課程の期間は1年半～2年です。

大学で学位取得を目指すプログラムは、第1サイクルと第2サイクルの学習を組み合わせて統合することも可能です（例えば法学、医学など）。

- **第3サイクル：**科学または芸術の分野での博士号取得を目指す博士課程は、大学、または大学と研究機関の組み合わせにより実施されます。

学位を取得しない学習（学位取得のないコース、教師養成）は大学、および／またはカレッジで実施されます。高等教育機関は、ジョイントディグリーの取得を目指す共同課程プログラム、およびダブルディグリーの取得を目指すプログラムも提供します。ジョイントディグリーは、少なくとも2つの高等教育機関（通常、それぞれ別の国）が学習プログラムを実施する場合に授与される学位です。ダブルディグリーは、学習プログラムが主専攻の必要条件と副専攻の最低必要条件のいずれをも満たした場合に授与されます。

奨学金

リトアニア教育科学省の認定機関として国家奨学金を運営するEducation Exchanges Support Foundationでは、二国間協定の枠組みの中で各種奨学金を給付しています。リトアニア高等教育機関におけるリトアニア・バルト研究を対象とした奨学金は、外国人学生にも出願資格があります。奨学金の給付期間は、リトアニア（バルト）研究履修の1学期または2学期間（最長10カ月間）です。また、リトアニア高等教育機関におけるリトアニア語・文化のサマーコース（3～4週間）も対象となります。

Education Exchanges Support Foundationはまた、フルタイムの修士課程の学生にリトアニア国家奨学金を給付しています。ただし、出願資格のある学生の出身国は限定されています。

詳しい情報

- **リトアニアでの学習に関する全国情報ポータル：**www.studyinlithuania.lt
- **リトアニア大使館**
  〒106-0046　東京都港区元麻布3-7-18
  電話：03-3408-5091　ファクス：03-3408-5092
  http://jp.mfa.lt/

ルクセンブルクの基本情報

人口60万人のルクセンブルクは、ベルギー、フランス、ドイツに囲まれた内陸国です。首都はルクセンブルク市です。国語はルクセンブルク語ですが、公用語としてフランス語とドイツ語も公文書やメディアでは使用されています。英語も、学校で教科として教えられており、広く使われています。

高等教育制度

- **大学**

  2003年に創立されたルクセンブルク大学には、(1) 科学・テクノロジー・コミュニケーション学部、(2) 法律・経済・金融学部、(3) 語学・文学・人文科学・芸術学・教育学部――の3つの学部があります。また、学際的な研究を行う大学付属の研究センターとして、(1) 安全保障・信頼性・信用 (SnT) センターおよび (2) 生体臨床医学センターもあります。

  ルクセンブルク大学では、学士号が取得できる学士課程コースを、法学、経済学、ヨーロッパ文化論、教育科学、心理学、社会科学、生命科学、工学、コンピューター学、自然科学、テクノロジーの各分野で提供しています。また、いくつかの分野については、修士号および博士号を取得できるコースも提供しています。2カ国語、または複数言語で受講できる学習プログラムもあります。ルクセンブルク大学はベルギー、フランス、ドイツの複数の大学と緊密な協力関係を持っています。

- **大学以外**

  いくつかの職業分野については、生涯学習職業訓練カレッジが2年間の職業訓練を実施しており、修了すると上級技術者ディプロマ (Brevet de Technicien Supérieur) が授与されます。

奨学金

奨学金と教育ローンは、CEDIES（Centre de Documentation et d'Information sur l'Enseignement Supérieur – Service des Aides Financières）および Institut Universitaire International Luxembourg より給付されます。

詳しい情報

- **ルクセンブルク大学：**www.uni.lu
- **Ministère de l'Enseignement supérieur et de la Recherche（高等教育・研究省）：**
  http://www.mesr.public.lu
- **Ministère de l'Education nationale et de la Formation professionnelle（初等教育・職業訓練省）：**
  http://men.public.lu
- **Institut Universitaire International Luxembourg：**http://www.iuil.lu/
- **CEDIES (Centre de Documentation et d'Information sur l'Enseignement Supérieur (CEDIES-Service des Aides financières)：**https://cedies.public.lu/fr/obtenir-aide-financiere/bourse-pret.html
- **ルクセンブルク大公国大使館**
  〒102-0081　東京都千代田区四番町8-9
  電話：03-3265-9621　ファクス：03-3265-9624　Eメール：Tokyo.Amb@mae.etat.lu
  http://tokyo.mae.lu/jp/

マルタの基本情報

マルタは総面積31万6,000km^{2}の小さな島国で、40万人強の住民が住んでいます。最大の島マルタ島は、文化、商業、行政の中心地です。ゴゾ島は農村地域で、観光、工芸、農業によって特徴づけられます。他の島々のほとんどは無人島です。小さなサイズにもかかわらず、それらの島々は数千年に及ぶ豊かな歴史を持ち、地中海の中心にある戦略的な場所として大いに影響を受けてきました。公用語はマルタ語と英語ですが、マルタ憲法には、マルタ語が国語として記載されています。

高等教育制度

マルタには、初等教育から大学院レベルまで、あらゆるレベルをカバーする充実した教育システムが整っています。マルタの高等教育機関はフルタイムおよびパートタイムの両方のコースを提供しています。特定の語学コースを除き、高等教育に関しては英語でのみ提供され、この分野では、すでにかなりの割合の外国人学生を受け入れています。

いずれのレベルにおいても公立校と私立校の両方があり、公立校は、中等教育後のレベルまでの全ての生徒に無料の教育を提供しています。学費のかかる私立校には、独立系学校とインターナショナルスクールの両方があり、インターナショナルスクールは主に外国人居住者に対応しています。

全国高等教育委員会（National Council for Further and Higher Education-NCFHE）は、プログラムを通じて提供される学習成果を向上させるために、内外の品質保証のプロセスに着手する教育機関にガイダンスを提供します。品質保証の枠組みは、マルタの状況に適応した欧州規格とガイドラインに基づいています。これらはマルタの高品質を追求する価値観に貢献し、マルタがさらなる高等教育における卓越した地域プロバイダーとしての満足度と地位を高めることにつながっています。

以下はマルタの高等教育機関の一部です。

リストの最新版は NCFHE のウェブサイトでご覧ください
https://ncfhe.gov.mt/en/register/Pages/register.aspx

大学

- The University of Malta – www.um.edu.mt
- The American University of Malta – www.aum.edu.mt
- Barts and the London School of Medicine and Dentistry -https://www.qmul.ac.uk/smd/undergraduate/malta/
- European Graduate School - http://egs.edu/malta
- Middlesex University – Malta - http://www.mdx.edu.mt/

高等教育機関

- Institute of Tourism Studies – www.its.edu.mt
- LSCM - London School of Commerce, Malta - www.lscmalta.edu.mt
- St. Martin's Institute of Higher Education - www.stmartins.edu

継続教育と高等教育機関

- Malta College of Arts Science and Technology (MCAST) - www.mcast.edu.mt
- Domain Academy – www.domainacademy.edu.mt
- ELT Council - https://eltcouncil.gov.mt/
- Global College Malta - www.swehg.com/swgcm

マルタの全ての教育機関が提供する資格は、欧州資格認定枠組み（European Qualifications Framework-EQF）に沿って全国高等教育委員会（NCFHE）によって設定されたマルタ認定枠組み（Malta Qualifications Framework-MQF）に準じています。すなわち、これらの機関を通して得られた資格は全て国際的に認められています。また、欧州のガイドラインに則り、授業内容は欧州単位互換制度 (European Credit Transfer System-ECTS) で測定されます。

奨学金

マルタで学ぶ学生は、マルタ政府や欧州連合（EU）が提供する支援など、さまざまな助成金の機会、奨学金を利用することもできます。

マルタ政府が提供する奨学金は、教育雇用省（Ministry for Education and Employment）を通じて提供されます。利用可能な奨学金の一覧は、同省のウェブサイトに掲載されています。（www.education.gov.mt）

詳しい情報

Education Malta は、学生が必要とする情報およびガイダンスを提供するための窓口となっています。また、留学生を受け入れたいマルタ国内の教育機関をサポートしています。マルタに関する詳細と高等教育の情報は、www.educationmalta.org をご覧下さい。さらに情報が必要な場合は、info@educationmalta.org 宛に E メールをお寄せ下さい。

オランダの基本情報

オランダは欧州大陸の北西に位置しています。北と西は北海に面し、東はドイツ、南はベルギーと国境を接しています。内陸部は海面より低いところもあり、沿岸の砂丘や堤防で守られています。首都はアムステルダムですが、王宮と政府機関、議会はハーグにあります。オランダの人口はおよそ1,702万（2016年）です。国内総生産（GDP）は7,026億ユーロ（2016年推定）で、世界18位です。公用語はオランダ語ですが、英語も広く理解され話されています。

高等教育制度

オランダの教育制度は教育と研究の質の高さ、国際的な学習環境、そして他に劣らぬ費用の安さで知られています。英語で受講できるコースも2,100近くあり、英国に次ぐ多さです。

オランダでは、大学と実務専門大学という2種の普通高等教育からなる二元的高等教育制度を採用しています。大学は、学術的・専門的環境の下、研究志向型の独立的学習に重点を置いています。実務専門大学はより実践的であり、学生は特定の職業に直接結びつく教育を受けます。主な大学都市はアムステルダム、ロッテルダム、フローニンゲン、デルフト、ライデン、ユトレヒト、マーストリヒトです。

大学と実務専門大学では学士号と修士号のどちらも取得できます。大学の学士課程を修了するには、3年間のフルタイムの学習（180 ECTS 単位）が必要です。実務専門大学の学士課程は4年間のフルタイムの学習（240ECTS 単位）が必要です。大学、実務専門大学、国際教育機関の修士課程は、分野により異なりますが、1～2年（60～120 ECTS 単位）の学習が必要です。博士（PhD）課程を履修できるのは大学のみで、最低4年間の学習を要します。

授業料と生活費

EU 域外の学生が支払う授業料は、プログラムにより異なりますが、学士課程で6,000～12,000ユーロ、修士課程で8,000～20,000ユーロです。

これとは別に、生活費（居住費、食費、交通費、光熱費を含む）がおよそ月1,000ユーロかかりますが、当然ながら生活スタイルや住む場所により異なります。

詳しい情報

- **オランダの高等教育国際協力組織：**www.nuffic.nl
- **オランダで学ぶ：オランダでの学習に関わるさまざまな情報：**www.studyinholland.nl
- **英語で受講できる学習プログラム（2,100以上）のオンライン・データベース：**www.studyfinder.nl
- **すでにオランダで学んでいる学生の体験談：**www.studyinholland.nl/why-study-in-holland/testimonials
- **オランダでの学習者を対象とする奨学金のデータベース：**www.grantfinder.nl
- **オランダの高等教育機関の全リストは以下でご覧いただけます：**
  www.studyinholland.nl/education-system/dutch-institutions
- **オランダ大使館**
  〒105-0011　東京都港区芝公園3-6-3
  電話：03-5776-5400　ファクス：03-5776-5535
  https://www.orandatowatashi.nl/

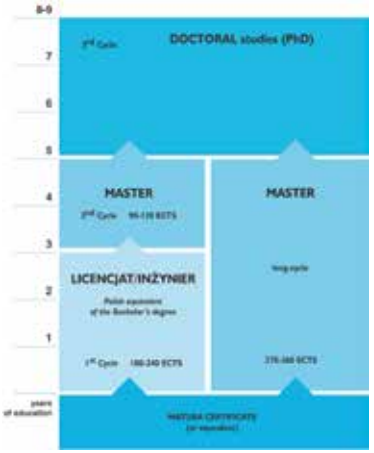
ポーランドの基本情報

ポーランドは欧州のほぼ中央に位置しています。総面積は31万2,679km^{2}で、欧州大陸で7番目に大きな国であり、人口は3,850万を超えます。首都はワルシャワ（人口約200万）です。ポーランドは7カ国と国境を接しています。西にはドイツがあり、南にチェコとスロヴァキア、東にウクライナ、ベラルーシ、リトアニア、そして北にはロシアがあります。

高等教育制度

学習課程の構造

2007～2008学年度より、ポーランドの高等教育システムは学士（Licencjat, Inżynier）、修士（Magister）、博士（Doktor）の3段階に分類されています。このシステムはほとんどの教育分野に当てはまりますが、法学、薬学、心理学、獣医学、医学および歯学では現在も引き続き2段階システム（修士および博士）が採用されています。



授与される学位

学士（BA、Licencjat）

職業／技術カレッジで3年～3年半の課程を修了すると授与されます。

学士（BSc、Inżynier）

工学、農学、経済分野のカレッジで3年～3年半の課程を修了すると授与されます。

修士（MA、MSc、Magister）

相当する学位は、修士（Master of Art、Master Engineer、Master Engineer Architect）、有資格医師、歯科医師、獣医師です。大学で5～6年の長期一貫課程を修了すると授与されます。MSc はまた、カレッジのディプロマを持つ者が2年～2年半の補足的修士課程を修了した場合にも授与されます。

博士（PhD、Doktor）

博士試験に合格し、博士論文の審査に通った者に授与される学位です。博士号の取得は、修士号または同等の学位を有することが条件となります。

入学の必要条件

入学条件は大学ごとに異なりますので、希望する大学のウェブサイトで確認してください。通常、出願用紙に記入し、高等学校（またはカレッジもしくは大学）の成績証明書、および英語の能力を証明するもの（TOEFLの結果など）と一緒に提出する必要があります。大学の中には、推薦状、小論文、その他の文書を求めるところもありますので、ウェブサイトで確認してください。また美術学校と、体育学科等のいくつかの学科では、適性試験が追加実施されます。

品質保証

ポーランドの高等教育機関の教育水準は、ポーランド国家認証委員会が監視と統制を行っています。同委員会は他国の認証機関とも協力しています。詳しくは次のウェブサイトをご覧ください。http://www.pka.edu.pl/

ディプロマの認定

ディプロマの検証に関する全規則と、ポーランドとディプロマの相互承認協定を結んでいる国のリストは、学術認定国際交流局のウェブサイト（https://nawa.gov.pl/）でご覧いただけます。

学年度

1学年度は秋学期（10月から2月半ばまで）と春学期（2月半ばから6月まで）の2学期に分かれています。各学期の最後には試験期間があります。学習は講義、授業、セミナー、実験室での授業、グループディスカッションといった形で行われます。

試験

学生が学期を修了するには、全ての試験に合格しなければいけません。最も一般的な評価尺度は、優（5）・良プラス（4.5）・良（4）・可プラス（3.5）・可（3）・不可（2）です。欧州単位互換制度（ECTS）の下、特定の科目に対しては、試験の成績とは別に一定数の単位が与えられます。

欧州高等教育圏におけるポーランドのシステム

ポーランドは他の29カ国と共に、欧州高等教育圏の形成を目指す「ボローニャ宣言」に署名しています。ポーランドの高等教育機関は ECTS を採用しています。また、各校の活動およびソクラテスやエラスムス等のEUのプログラムに基づいた交換留学制度も実施しています。英語表記のディプロマ・サプリメントを発行し、学歴・資格に関する国際的認知も進めています。

奨学金

毎年、日本人学生を対象に8つのポーランド政府奨学金が給付されます。奨学金の出願資格と条件については、次のウェブサイト（日本語）をご覧ください。

https://tokio.msz.gov.pl/ja/bilateral_cooperation/science/shogakukin/

ポーランド歴史博物館が資金提供する奨学金基金は、ポーランド史の学術研究、および外国におけるポーランド史の普及活動を助成しています。奨学金の対象はポーランド史の研究者および研究志望者です。出願者は、少なくとも修士号または同等の学位を持っていることが必要です。給付期間は1～3カ月で、給付額は月1,000ユーロです。詳しくは次のウェブサイトをご覧ください。jaroslaw.waczynski@msz.gov.pl

詳しい情報

- **ポーランドで学ぶ：**www.studyinpoland.pl
- **ポーランド大使館**
  〒153-0062　東京都目黒区三田2-13-5
  電話：03-5794-7020　ファクス：03-5794-7024
  Eメール：tokio.amb.sekretariat@msz.gov.pl
  https://tokio.msz.gov.pl/en/

ポルトガルの基本情報

ポルトガルは、クリーンエネルギーの生産と利用、重要情報システム技術の開発、そして革新的な織物と履物の発明といった分野で世界をリードする先進的国家です。防弾靴はポルトガルで開発されたということをご存知でしたか。またポルトガル語は、欧州言語としては、英語、スペイン語に続き世界で3番目に広く話されています。国際関係において重要な役割を果たしている世界主要言語の一つであり、欧州連合（EU）や、その南米版ともいえるメルコスール（南米南部共同市場）では実務言語として使われています。地球全体でポルトガル語を母語とする人口は約2億3,000万に上り、アンゴラ、ブラジル、カーボベルデ、ギニアビサウ、モザンビーク、ポルトガル、サントメ・プリンシペ、東ティモール、そして中国のマカオではポルトガル語が公用語として使われています。

ポルトガルには多種多様な魅力があります。活気あふれる文化、素晴らしい食べ物とワイン、非常に美しい自然、そして長い豊かな文化的歴史の産物である壮麗な建築などがその例です。温暖で明るい気候、清浄な空気、欧州有数の生活コストの低さ、そして外国人を温かく受け入れる伝統を持つポルトガルは、観光地として高い人気を誇ります。首都のリスボンは白く輝く宝石のような都市であり、建築物やさまざまな美術館、レストランなど多数の名所にあふれています。7つの丘に広がる街、リスボンは、各所で海や市街地を見晴らす絶景が楽しめます。

欧州の南西端に位置するポルトガルは、大西洋に面して最長の国境を擁し、沖合にはアゾレス諸島とマデイラ諸島という群島を有しています。このような地理上の特徴は恵まれた気候だけではなく、世界の隅々まで探索しようとの動機ももたらしました。ポルトガルは、アジアへの海路を発見した欧州最初の国でした。交易の拠点マカオを通じた、長く継続的な対中貿易関係は、他国に例を見ません。

高等教育制度

ポルトガルの高等教育制度は、大学教育と技術専門教育という2つの下位制度からなっています。公立の大学・技術専門学校の授業料は低額で、私立大学の授業料もそれほど高くはありません。高等教育のこの2つのシステムは相互に結びついており、一方から他方へ移動することが可能です。またポルトガルの大学から欧州の他の大学へ、またその逆へ移動することも容易です。これは、欧州の大学は学生の評価システムとして、特定の学習成果の達成に必要となる学習量を基準に、互いに類似した方式を採用しているためです。このことはまた、共通の単位システムとディプロマ・サプリメント、そして3サイクルモデル等の仕組みを通じた、EU のボローニャ・プロセス (欧州高等教育圏) の実施の結果でもあります。高等教育機関は第1サイクル（licenciatura）、第2サイクル（mestrado）、第3サイクル（doutoramento）の各学位を授与します。一方、技術専門学校は、第1サイクル（licenciatura）と第2サイクル（mestrado）の学位および職業技術高等教育コースの短期ディプロマ（TeSP）を授与します。
(https://www.dges.gov.pt/en/pagina/portuguese-higher-education-system?plid=1529).

奨学金

博士号のための助成金と並び、ポスドク助成金、サバティカル助成金、エンタープライズ博士助成金、国際組織トレーニング助成金が、科学・技術・高等教育省の管轄の下、科学技術基金（http://www.fct.pt/fct.phtml.en）より支給されています。

ポルトガル政府は、ポルトガルの大学と、世界的水準の研究機関（マサチューセッツ工科大学、カーネギーメロン大学、テキサス大学オースティン校、フラウンホーファー研究機構、ハーバード大学医学大学院）を結集する、複数の国際パートナーシップを推進しています。また、スペインと共同で創設されたナノテクノロジー分野の野心的協力プログラム、国際イベリア・ナノテクノロジー研究所（INL）は、ナノテクノロジーおよびナノ科学の学際的研究を推進しています（http://inl.int/）。

カルースト・グルベンキアン財団（www.gulbenkian.pt）は、ポルトガル現代美術の国外における普及、および国際的な芸術交流の推進を目的としたプロジェクトに資金援助を行っています。

オリエント財団（http://www.foriente.pt/?lang=en）は、ポルトガルとアジア諸国、特に中国との歴史的・文化的つながりの発展と継続を目的として、文化・教育・芸術・科学・社会・社会奉仕分野における活動を推進しています。また、マカオにあるポルトガル東洋院（IPOR）を通じ、ポルトガル語の普及にも努めています。

品質の保証

2007年に、ポルトガルの高等教育の質の向上および保証を目指す国の機関として、高等教育評価・認定庁（A3ES）（http://www.a3es.pt/en）が設立されました。これは独立的に決定を下す機関で、決定にあたっては国家が定めるガイドラインを考慮することが義務付けられています。近年、同庁は、欧州の高等教育品質保証システムへのポルトガルの完全統合を確実なものとすべく、高等教育機関およびその学習プログラムの評価・認定を通じて、ポルトガルの高等教育の質の改善に大きく貢献しています。

カモンイス言語国際協力機構

ポルトガル外務省管轄下のカモンイス言語国際協力機構は、ポルトガルの協力政策の実施、および、ポルトガル国外におけるポルトガル語とポルトガル文化の推進に責任を負う機関です。前者の目的を達成するために、カモンイス言語国際協力機構は、ポルトガル人および外国人学生向けの各種奨学金プログラムを提供するさまざまな協力協定を、外国の高等教育機関との間で結んでいます。例えば、ポルトガル語・文化夏期コースプログラム、通年ポルトガル語・文化コースプログラム、フェルナン・メンデス・ピント・プログラム、リサーチ・プログラム、ペソア・プログラム、ヴィエイラ・プログラムがあり、また、カモンイス言語国際協力機構および国立文化センターの間の協定の下で支給される奨学金もあります。出願規則および期限は毎年、カモンイス言語国際協力機構のウェブサイト、www.instituto-camoes.pt で発表されます。

詳しい情報は次で入手できます。

- **スタディー＆リサーチ・イン・ポルトガル：**https://www.study-research.pt/
- **科学技術財団（Fundação para a Ciência e a Tecnologia）：**www.fct.pt
- **高等教育総局（Direção Geral do Ensino Superior）：**https://www.dges.gov.pt/pt
- **高等教育評価・認定庁（A3ES）：**http://www.a3es.pt/en
- **ポルトガル大学学長評議会（CRUP）：**http://www.crup.pt/
- **ポルトガル技術専門学校調整協議会（CCISP）：**http://www.ccisp.pt/index.php?lang=en
- **ポルトガル私立高等教育協会（APESP）：**http://www.apesp.pt/
- **カルースト・グルベンキアン財団（Fundação Calouste Gulbenkian）：**www.gulbenkian.pt
- **カモンイス言語国際協力機構（Camões- Instituto da Cooperação e da Língua）：**www.instituto-camoes.pt
- **EURAXESS – リサーチャーズ・イン・モーション（欧州での研究キャリアの追求または研究目的での欧州滞在を希望する研究者に、総合的な情報と支援サービスへのアクセスを提供する欧州のイニシアチブ）：**http://ec.europa.eu/euraxess/
- **オリエント財団：**http://www.foriente.pt/
- **ポルトガル大使館**
  〒102-0083　東京都千代田区麹町3-10-3、神浦麹町ビル5F
  電話：+(81) 352 127 322　ファクス：+(81) 352 260 616
  ウェブサイト：http://embaixadadeportugal.jp/jp/

ルーマニアの基本情報

世界地図の位置	中欧の南東。2007年に欧州連合（EU）に加盟
近隣諸国	ウクライナ（北）、ブルガリア（南）、ハンガリー（北西）、セルビア（南西）、モルドバ共和国（北東）。南東は黒海に面している
時間帯	グリニッジ標準時（GMT）+3（4月～10月）／GMT+2（11月～3月）
面積	23万8.391km^2
人口	約2.000万人（日本の約1／6）
人口構成	ルーマニア人　89.9%、ハンガリー人　6.5% その他　4.6%（ロマ民族、ウクライナ人、ブルガリア人、トルコ人など）
宗教	ルーマニア正教　86.7 %、プロテスタント　5.3%、ローマカトリック　4.7%、 その他　3.3%
気候	温帯大陸性気候：四季がある。夏は蒸し暑さは感じない。冬は雪が沢山積もる
公用語	ルーマニア語 ロマンス語で、スペイン語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語とよく似ている
通貨単位	LEU（単数形）レウ／LEI（複数形）レイ　　国際通貨記号：RON
首都	ブカレスト

高等教育制度

ルーマニアの高等教育は大学、インスティテュート（研究所）、アカデミー（専門学校）、芸術学校で実施されています。

A. 学部課程

- **長期大学教育：**大学、アカデミー、芸術学校において実施される3～6年間のプログラム。修了すると、大学ディプロマ（学士に相当）が授与されます。
  一部の大学は英語またはフランス語でも授業を行います。

B. 大学院課程

大学院の課程には次のものが含まれます。

- **修士課程：**1年6カ月～2年間のコース。大学卒業者対象。
- **博士課程：**3年～4年間のコース。

奨学金

外国人学生に対して以下の奨学金が提供されます。

a. 二国間協定に基づくルーマニア政府奨学金

b. ルーマニア教育省が大使館を通じて提供する奨学金

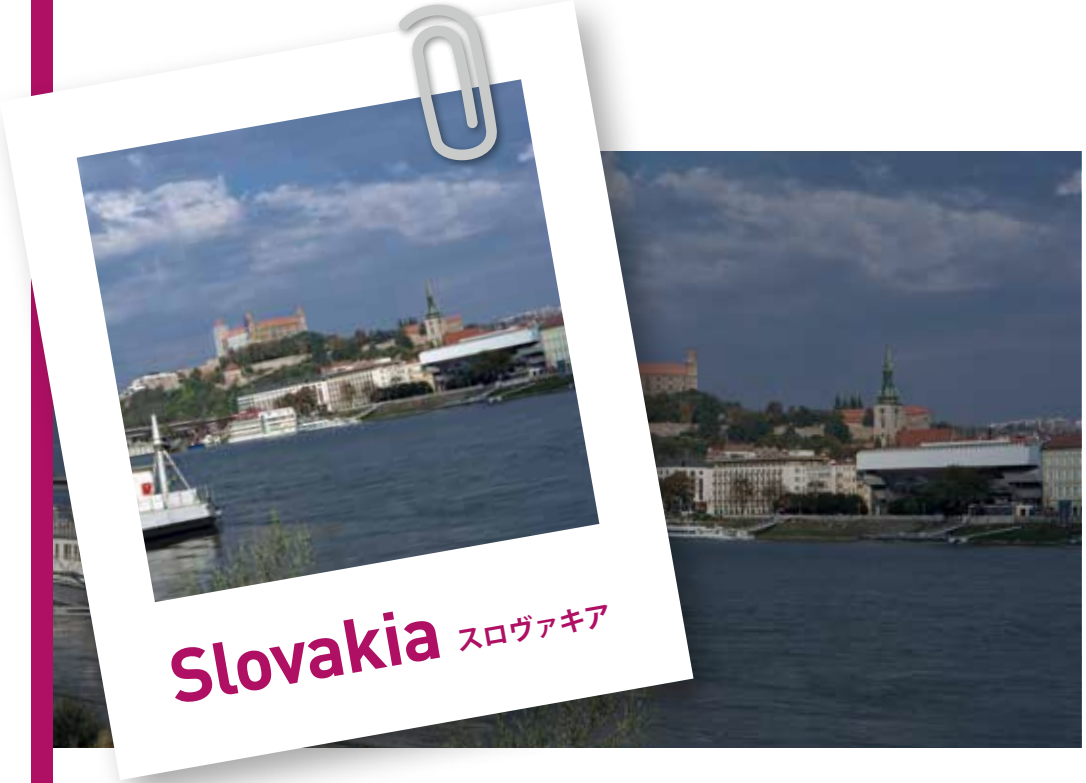
c. ルーマニア系留学生向けの奨学金

d. フランス語で行う博士課程（エウジェン・ヨネスク奨学金）

e. EU 加盟国間の人物交流協力計画に基づく奨学金 (エラスムス計画等)

詳しい情報

- **ルーマニア大使館**
  〒106-0031　東京都港区西麻布3-16-19
  電話：03-3479-0311　ファクス：03-3479-0312　E メール：tokyo@mae.ro
  http://tokyo.mae.ro/
- さらに詳しい情報：
  ルーマニア**教育研究青年スポーツ省**のウェブサイト：www.edu.ro
  ルーマニア外務省のウェブサイト：http://www.mae.ro



スロヴァキアの基本情報

スロヴァキアは欧州大陸の中心部にある内陸国で、オーストリア、チェコ、ハンガリー、ポーランド、ウクライナと国境を接しています。また北部・北東部はカルパチア山脈で囲まれ、スロヴァキアの国土の33%以上は丘陵地です。人口は540万です。公用語はスロヴァキア語ですが、ハンガリー語とチェコ語も広く使われています。首都のブラチスラヴァはオーストリアとの国境に近いドナウ川沿いにあり、ウィーンとの距離はわずか60 km です。

高等教育制度

スロヴァキアには公立、国立、私立の高等教育機関があります。公立の機関は現在19校あり、そこには、伝統的な大学9校、技術大学3校、芸術・音楽学校3校、そして経済学研究所、獣医大学、農業大学が含まれます。国立の機関は、軍事アカデミー 2校と警察アカデミー、そして医科大学があります。スロヴァキアの現在の高等教育法の下、高等教育機関は3つのレベルの高等教育を実施しています。第1のレベルを修了すると学士号（Bakalár）が、第2のレベルを修了すると、修士（Magister）、技師（Inžinier）、医学博士（Doktor Medicíny）の学位が授与されます。そして第3のレベルを修了すると、博士号（博士または PhD）が授与されます。

奨学金

学生・博士課程学生・大学教員・研究者の移動を支援する全国奨学金プログラムの設立が、2005年にスロヴァキア政府により承認されました。スロヴァキア全国奨学金プログラムは、教育・科学・研究・スポーツ省が資金提供しています。

スロヴァキア全国奨学金プログラムは外国人学生、博士課程の学生、大学教員、研究者が、スロヴァキアの大学・研究機関で学習・研究活動を行うことを支援するものです。

奨学金には次の種類があります。

- スロヴァキアの大学で1 ～ 6学期間（5 ～ 30カ月間）、学士課程（学部課程）を履修する外国の大学の学生のための奨学金
- スロヴァキアの大学で1 ～ 2学期間（5 ～ 10カ月間）、修士課程（学卒課程）を履修する外国の大学の学生のための奨学金
- スロヴァキアの大学またはスロヴァキア科学アカデミーの研究機関で1 ～ 12カ月間、博士課程の研究の一部を行う外国の博士課程学生のための奨学金
- スロヴァキアの大学、研究機関、非政府組織に招聘され、1 ～ 12カ月間、教育または研究を行う外国の大学の教員・研究者を対象とする助成金

詳しい情報

- **SAIA – スロヴァキア学術情報機関（Slovenská akademická informacná agentúra）：**
  www.saia.sk/en

  https://www.saia.sk/en/main/study-in-slovakia/

  https://www.saia.sk/en/main/study-in-slovakia/downloads このウェブページには「スロヴァキアに関する外国人学生のためのガイド」と、スロヴァキアの大学全リストをはじめとする有益なウェブサイトのリンクが載っています。
- **教育・科学・研究・スポーツ省：**http://www.minedu.sk/about-the-ministry/
- **スロヴァキア大使館**
  〒106-0046　東京都港区元麻布2-11-33
  電話：(03) 3451-2200　ファクス：(03) 3451-2244
  E メール：emb.tokyo@mzv.sk
  http://www.mzv.sk/tokio

スロヴェニアの基本情報

スロヴェニアは南欧の中部にある国です。西はイタリアと接し、南西部はアドリア海に面し、南部と東部はクロアチアと、北東部はハンガリーと、そして北部はオーストリアと接しています。アルプス山脈と地中海、パンノニア平原、ディナル・アルプス山脈が出会う場所に位置するスロヴェニアは、何世紀にもわたり、国内各地方でさまざまな経済活動や生活様式、文化が発展してきました。スロヴェニアの人口は200万で、公用語はスロヴェニア語です。首都リュブリャナは、国内最大の都市であるとともに、政治、行政、経済、教育、文化の中心となっています。

高等教育制度

過去15年間、スロヴェニアの高等教育は数回の法律上・構造上の改革を経て、急速な制度的発展を遂げ、学生数も大幅に増えました。2004年の高等教育改革では、欧州連合（EU）のボローニャ・プロセスの指針に従った3サイクル制が導入されました。第1サイクルは学術教育と職業専門教育の二元システムがとられ、第1サイクルの学位が授与されます（180～240 ECTS、3～4年間）。第2サイクルは修士課程に当たります（60～120 ECTS、1～2年間）。第3サイクルは博士課程に当たります（180 ECTS、3年間）。

高等教育機関は大学、大学学部、芸術アカデミー、専門カレッジがあります。42ある高等教育機関はあらゆる学問分野を扱っています。45の学部と芸術アカデミー3校を統合する公立大学3校、公共学部1校、そして私立の高等教育機関38校（うち2校は大学）があります。一定の条件の下、私立高等教育機関においても国が部分的に資金提供するコースが実施されています。

学年度は10月に始まり、翌年の9月末まで続きます。2学期制がとられ、冬学期は通常10月から1月まで、夏学期は2月から6月半ばまでです。

奨学金

- **The Centre of the Republic of Slovenia for Mobility and European Educational and Training Programmes** – CMEPIUS はスロヴェニア政府奨学金の運営団体です。これとは別組織の Slovene Human Resources Development and Scholarship Fund は、学生・研究者の国際的移動の支援を目的に、スロヴェニア政府が設立した基金です。ここでは、スロヴェニア人と外国人を対象に、授業料、生活費、その他の費用を賄う奨学金と教育ローンを給付しています。詳しくは次のウェブサイトをご覧ください。www.cmepius.si/en、www.sklad-kadri.si/en
  2019～20学年度の二国間奨学金について以下をご覧ください。
  https://eng.cmepius.si/students/bilateral-scholarships/
- **第二言語／外国語としてのスロヴェニア語学習コース**
  The Centre for Slovene as a Second/Foreign Language は、スロヴェニアの言語・文学・文化に対する国際的な理解の推進を図っています。奨学金はほとんどの場合、スロヴェニア語の教師に給付されます。詳しくは次のウェブサイトをご覧ください。www.centerslo.net/index.asp?LANG=eng

詳しい情報

- **スロヴェニア大使館**
  〒107-0062　東京都港区南青山7-14-12
  電話：03-5468-6275　ファクス：03-5468-1182
  http://tokyo.embassy.si/index.php?id=48&L=11
  または
  CMEPIUS　Eメール：scholarships@cmepius.si

スペインの基本情報

スペインはポルトガル、アンドラと共に、欧州の南西端にあるイベリア半島に位置する国です。スペインはまた、カナリア諸島およびバレアレス諸島という2つの大きな群島、小さな島々、そしてアフリカ北部の飛地領の都市であるセウタとメリリャも有しています。スペインの総面積は50万6,030km^{2}で、世界で50位内に入ります。イベリア半島部のスペインの面積は49万3,514km^2、バレアレス諸島、カナリア諸島、セウタとメリリャはそれぞれ4,992、7,492、32km^{2}です。スペインの総人口は約4,600万です。

スペインのユニークな文化は、その長い歴史を通じ、多数の外的影響を受けることで発展・継承されてきました。スペインは、イベリア半島の地理的な位置付けにより、自ずと南北欧州、アメリカ、アフリカ、そして東洋の文化をつなぐ懸け橋となりました。歴史の変遷の中で、スペインは多数の異なる文化が出会う場所となりました。そして、激烈な過去を今に伝える、豊かで多様な文化的遺産がもたらされたのです。

スペインは議会制君主国です。国家元首の国王は統一と永続性の象徴であり、さまざまな機能をもつ諸機関の間の仲裁者や調停者、そして、国際関係における国家の最高代表者の役割を果たしています。1978年憲法は、スペイン国家の諸民族・諸地域の自治権、およびそれら全ての連帯を認め、保障しました。スペインには現在、17の自治州と、アフリカ北部の2つの自治都市であるセウタとメリリャがあります。

スペインの文化的多様性は、国内で話されている言語が多種多様であることに反映されています。公用語はスペイン語ですが、自治州の中にはカタルーニャ語、バレンシア語、ガリシア語、バスク語といったそれぞれ独自の言語も公用語としているところもあります。スペイン語は16世紀以来、継続的に拡大しています。19世紀末のスペイン語話者は、およそ6,000万人でした。1世紀後、スペイン語話者は4億人近くとなり、スペイン語は標準中国語に続き世界で2番目に多く話される言語になりました。スペイン語はおよそ20カ国で公用語となっており、国際機関においても公用語として通常使用される3言語のうちの1つです。スペインはまた、外国語としてのスペイン語を学ぶ場所として最も人気のある国に数えられています。特に米国とアジア諸国の英語話者でスペイン語を学びたい人、および他の欧州連合（EU）諸国の学生の間で高い人気を誇ります。

高等教育制度

スペインの大学制度を欧州高等教育圏（EHEA）に適合させたことで、現在、スペインの大学教育は学士号（スペイン語でいう grado）、修士号、博士号の3つのサイクルで構成されています。学士号と修士号の課程を提供している学術分野は、人文科学、実験科学、医学・保健学、社会科学・法学、工学、建築学です。

- **第1サイクル：学士号**
  学士号（grado）は旧来の学部課程のディプロマおよび学位の資格に代わるものです。学士号を取得するには、学生は4年の履修期間で合計240 ECTS 単位を取る必要があります（ここには学位論文も含まれます）。学生は学年度ごとに最低で9単位、最高で90単位分、履修しなければなりません。
- **第2サイクル：修士号**
  修士号は60 ～ 120 ECTS 単位で構成され、履修期間は1学年度または2学年度です。正式な修士課程の目的は、学術、専門職業、調査研究のための教育を授け、欧州高等教育圏（EHEA）の加盟国全てで認められる修士号を授与することにあります。修士課程への学生の受け入れは、学位ごとに定められた評価基準に基づいて決定されます。大学間で構成される大学学位調整委員会が、修士課程への受け入れ手続きおよび基準を規定しています。
- **第3サイクル：博士号**
  スペインにおける博士課程では、調査研究手法の高度なトレーニングを提供します。博士課程は、最低60単位の取得が義務付けられる学習期間（ただしこれは修士課程の一部となる場合もあります）と、博士論文の提出および最終発表につながる調査研究期間の2つのサイクルに分かれています。博士課程の期間はさまざまですが、通常、学習期間、調査研究期間、論文執筆を含めて3 ～ 4年です。

奨学金

スペインでは、外国人学生・専門家を対象に極めて幅広い奨学金を提供しています。特に重要なものとしては、スペイン国際協力開発庁（Agencia Española de Cooperación Internacional para el Desarrollo）を通じて支給される外務・EU・協力省（Ministerio de Asuntos Exteriores, Unión Europea y Cooperación）の奨学金プログラム、Programas de Becas MAEC-AECID が挙げられます。また、他の省や行政機関・自治体（自治州、地方機関など）、民間企業も各種奨学金を提供しています。

詳しい情報

- **外務・協力省（MAEC）– スペイン国際協力開発庁（AECID）奨学金：**
  http://www.aecid.es/ES/becas-y-lectorados/convocatorias-maec-aecid
- **文化省の財政支援機会・奨学金・寄付：**
  http://www.mecd.gob.es/servicios-al-ciudadano-mecd/catalogo/cultura/becas-ayudas-y-subvenciones.html
- **教育省奨学金：**http://www.mecd.gob.es/servicios-al-ciudadano-mecd/becas-ayudas.html
- **産業・観光・商務省奨学金：**www.tourspain.es/es-es/becas-turespaña
- **スペインの奨学金：**https://becas.universia.net/
- **スペイン大使館**
  〒106-0032　東京都港区六本木1-3-29
  電話：03-3583-8531　ファクス：03-3582-8627
  http://www.exteriores.gob.es/Embajadas/TOKIO/ja/Paginas/inicio.aspx

スウェーデンの基本情報

スウェーデンは小国ながら、エリクソンやボルボ、イケア、H&M 等、国際的に名高い企業を数多く生み出しています。また、IT 分野のほか、環境技術、工学、医療、バイオテクノロジーの分野における世界的な先進国でもあります。スウェーデンはノーベル賞の国であり、スウェーデン人受賞者も多数います。スウェーデンはまた、民主主義が強く根付いた、開放的でリベラルな社会としても知られています。スウェーデン人は国際的感覚に長け、英語も堪能です。

スウェーデンの高等教育機関には、英語で受講できる修士・学士課程のコースが1,000以上あります。外国人学生は、ビジネス、工学、法学、自然科学、社会科学その他の分野で学士号またはそれと同等の学位をもつ有資格者であれば、これらのコースを履修することができます。

スウェーデンの大学は徹底した研究と独立的思考で知られています。こうした評判は、厳格な品質管理および国家的に認定される学位により支えられています。スウェーデンは、こうした高い競争力の維持を目指すための欧州でも有数の野心的な教育評価を行っています。

上海交通大学がまとめた世界大学学術ランキング2018年版によれば、スウェーデンの大学はトップ100に3校、トップ500に8校が入っています。スウェーデンの大学および大学カレッジはさまざまな国際交流ネットワークに積極的に参加しています。そのため、外国人学生が快適な留学生活を送るのに役立つ各種サービスやインフラも整っています。

スウェーデンで学ぶことには、他にはないメリットがあります。スウェーデンの大学は、開かれた環境の下、グループ学習に大きく重点を置いています。これにより、将来的に役立つスキルを身につけることができます。グローバルな市場では、野心的で革新的、そして鋭敏なチームプレーヤーが求められます。こうした資質を、最新の知識や傾向と身近に接しつつ、進歩的雰囲気の中で養うことができるのがスウェーデンの大学です。スウェーデンの修士課程のプログラムでは独自の機会が提供されており、理論を実践に移すことができます。プログラムの多くは産業界と密接に連携しており、学生は学習と実習を組み合わせることが可能です。このため、就職活動ではライバルに大きな差をつけることができます。

Study in Sweden - Swedish Institute
所在地：Box 7434, S - 103 91 STOCKHOLM
www.studyinsweden.se

主な学習分野：
- バンキング / 金融 / 商取引 / 会計
- ビジネス / 経営学 / 経済学
- デザイン
- 工学
- 人文社会科学 / 政治学
- IT / 電気通信
- 医学 / 保健
- 科学（数学、物理学、化学など）

高等教育制度

資格
- **授与される学位：**Master's Degree – 修士号（1 ～ 2年間）
- **入学のための条件：**学士号または同等の学位、英語力（例えば、TOFEL / IELTS のテスト結果）
- **コースの期間：**1 ～ 2年間
- **授業料：**通常、年間80,000 ～ 140,000 SEK（スウェーデン・クローネ）の範囲内。詳細は希望する大学のウェブサイトをご覧ください。
- **指導で使われる言語：**英語

The Swedish Institute が提供する役立つ情報
- The Swedish Institute はスウェーデンに関する知識と関心を世界に広めることを目的に設立された公的機関です。
- The Swedish Institute では、スウェーデン留学に関する最新情報を提供しています。2016 ～ 2017年度は、およそ36,000人の外国人学生がスウェーデンで学びました。

詳しい情報

- **The Swedish Institute:** https://si.se/en/
- **Swedish Higher Education Authority (UKÄ)** www.uka.se
- **Swedish Council for Higher Education (UHR)** www.uhr.se
- **Association of Swedish Higher Education:** www.suhf.se
- **スウェーデン大使館**
  〒106-0032　東京都港区六本木1-10-3-100
  電話：(03) 5562 5060　ファクス：(03) 5562 0977
  メール：ambassaden.tokyo-info@gov.se　ウェブ：www.swedenabroad.se/tokyo

英国の基本情報

英国は欧州大陸の北西沖にある主権国家で、イングランド、スコットランド、ウェールズ（以上、グレート・ブリテン）および北アイルランドの4つの国で構成される連合国です。この4つの国はそれぞれ独自の歴史と景観、そして現代的文化を有しています。首都はロンドンです。英国の公用語は英語とウェールズ語の2つですが、英語が全国で広く使われています。また、スコットランドの一部ではスコットランド・ゲール語も話されています。

高等教育制度

英国の高等教育と研究は確かな評価を得ており、世界の先端を行く研究者や産業界の専門家から注目を集めています。また、学生は、創造性、革新性、チームワーク、そしてリーダーシップといった資質を育むことができます。英国で世界レベルの教育を受けることは、世界中の雇用主や研究機関から高く評価される能力を身につけられるチャンスです。

大学学部プログラムには、学士号、Foundation Degree、HND などが含まれます。ファウンデーション・コースやアクセス・コースといった大学進学準備コースを修了してから大学に入学する学生も多くいます。**大学院プログラム**には、修士号、MBA、PhD、博士号などが含まれます。通常、大学院に入るためには学部プログラムを修了している必要があります。

大学学部レベルで取得できる主な学位と資格

- 学士号（Bachelor's Degree）：専攻科目の理解を深められるよう構成されたプログラム。フルタイムのコースは、通常3年間（コースによっては4年間）です。 学位には、専攻分野に応じて BA（文系）BSc（理系）BEd（教育学）BEng（工学）など、それぞれ異なる名称がついています。
- Foundation Degree：学士号コースの最初の2年間と同等のレベルとみなされています。フルタイムまたはパートタイムで、授業のほかに実際の職業現場での実習が含まれます。これだけで独立した資格ですが、修了後に学士号コースの3年目に編入することもできます。
- Higher National Diploma (HND)：2年間のコースで、成績次第で学士号コースの3年目に編入可能です。

大学院レベルで取得できる主な学位と資格

- 修士号（Master's Degree）：修士号コースは、特定の科目に関する知識を深め、また、学部課程で習得した技術を利用して、全く異なる分野を追求する場となります。修士号は、その分野において、高い専門知識や技術を習得していることを証明する学位です。ほとんど全ての科目に修士課程がありますが、講義主体の修士号と、研究修士号の2つのタイプに分けられます。
- MBA（経営学修士号）：MBA は、経営の成功に必要なスキルを身につけていることを意味する、国際的にも認知されている学位です。MBA コースは、ビジネス政策と戦略、運営管理と戦略経営、マーケティング、市場分析、財務会計、IT、人材管理、リーダーシップ、起業家精神、国際貿易といった内容を学びます。
- 博士号（PhD/Doctorate）：PhD、DPhil といった博士号は、最高レベルの学位です。高度な研究を求められる資格で、研究職への道が開けます。博士課程に出願するためには、学部レベルで少なくともアッパーセカンド以上の成績を収める必要があります。修士号は必ずしも必要ではありませんが、PhD の前に修士号を取得するのが一般的です。

奨学金

外国人学生が英国に留学するのに利用できる主な奨学金と情報源は次のとおりです。

- チーヴニング奨学金制度は、英国外務省とパートナー機関が設立した世界的な奨学金のプログラムで、奨学生が希望する世界有数の英国の大学院で修士号を取得する機会（1年間）を提供します。詳しくは以下の次のウェブサイトをご覧ください。
  www.chevening.org
- 英国の大学の多くは EU のエラスムス・プラスの奨学金プログラムに参加しています。この奨学金を受けると EU の複数の国で修士課程プログラムを受講することができます。
- 大学院の奨学金は、Postgraduate Studentships など、いくつかのウェブサイトで調べることができます。
  www.postgraduatestudentships.co.uk

詳しい情報

- ブリティッシュ・カウンシル（日本）の英国留学情報ウェブサイト
  www.britishcouncil.jp/studyuk
- ブリティッシュ・カウンシル（グローバル）の英国留学情報ウェブサイト
  study-uk.britishcouncil.org
- **ブリティッシュ・カウンシル**
  〒162-0825　東京都新宿区神楽坂1-2
  E メール：studyuk.japan@britishcouncil.org
  ウェブサイト：www.britishcouncil.jp

Study in Europe
欧州留学ガイド

2014年5月　（初版発行）
2015年5月　（第2版発行）
2019年5月　（第3版発行）
発行　駐日欧州連合代表部広報部
www.euinjapan.jp
delegation-japan@eeas.europa.eu

© European Union, 2019

駐日欧州連合代表部
〒106-0047 東京都港区南麻布4-6-28 ヨーロッパハウス
Tel: 03-5422-6001 | Fax: 03-5420-5544
delegation-japan@eeas.europa.eu | http://www.euinjapan.jp